武蔵株式会社　2015年7月

MUSASHI

MDC－70T

Multi Device Controller

取扱説明書

武蔵株式会社　2015年7月

【改定履歴】

No	発行日	バージョン	内容
1	2013 年 6 月	S1.0	Time Back Data は次回バージョンにてリリース。
2	2013 年 10 月	0090-00-0B	Clip List 機能 リリースしました。 素材リスト機能 リリースしました。 カップリング機能 リリースしました。 パラ制御機能 リリースしました。 連続再生機能 リリースしました。 Time Back Data は次回バージョンにてリリース。
3	2014 年 2 月	0100-01-13	・PREROLL 指定をクリップリスト・プレイリスト毎に設定する事が可能としました。 ・プレイリストのクリップ数 ９９件→300 件 ・GPI 機能 リリースしました。
4	2014 年 4 月	0100-01-20	・T-Bar 不感帯 設定機能追加(P14) ・収録停止時の長押しガード機能追加(P25)
5	2014 年 5 月	0100-01-24	・VDCP 使用時 RecDuration 時間を１Ｈ→OpenEndRec に変更しました。 ・BlankKEY に対応しました。 ・フロント ＵＳＢ対応
6	2014 年 6 月	0100-01-24	簡易編集機能の不整合の修正
7	2015 年 7 月	0100-01-3D	・MENU 番号表示（一覧）の追加 ・文字コード（Windows Codepage:932 対応） ・カップリング＋パラ機能の混在が可能になりました。 ・PREROLL/POSTROLL の設定に±設定が可能になりました。 ・ブランクキー（１・２）に VAR 再生機能を追加 ・ブランクキー（１・２）に VTR プロトコル拡張コマンドに対応 END/TOP/PREV/NEXT ・GPI 入力で以下の KEY 動作対応 上/下/左/右 矢印 Key に対応
8			

目次

1. はじめに 5
2. 開梱および確認 5
3. 安全に関する注意 6
4. 概要 7
5. 特徴 7
6. パネル部の名称及び機能 8
7. 背面パネル部の名称及び機能 16
8. 操作画面と機能 19
   8.1 DiskRecoder 接続時の画面 19
   8.2 VTR 接続時の画面 20
   8.3 デバイスステータス画面 21
   8.4 PORT 表示部 22
9. 機能と操作方法 23
   9.1 Collection 機能 24
   9.3 通常機能 26
      9.3.1 録画の開始と再生 26
      9.3.2 VAR 再生 27
      9.3.3 TC と CTL 指定 28
      9.3.4 PREROLL 指定 29
      9.3.5 GOTO 機能 31
   9.4 クリップリスト機能 32
      9.4.1 Clip の操作概要 34
      9.4.2 クリップの登録操作 35
      9.4.3 クリップの編集 36
      9.4.4 クリップのコピペと削除操作 36
      9.4.5 クリップの呼び出し操作とテンキー機能 37
   9.5 素材リスト機能（マテリアルリスト） 39
      9.5.1 Material 操作概要 40
      9.5.2 素材の呼び出し 41
      9.5.3 素材の削除 41
      9.5.4 収録時のファイル名称について 42
   9.6 カップリング機能 43
      9.6.1 カップリング機能の設定 43

9.6.2　カップリング機能の操作 43
9.6.3　カップリング機能　+　VTR 制御の操作 44
9.7　パラ制御機能 45
9.7.1 パラ制御機能の設定 45
9.7.2 パラ制御機能の操作 45
9.7.3 パラ制御の CUE UP 方法 46
9.8　連続再生(PLAY LIST)機能 47
9.8.1 プレイリスト画面の説明 47
9.8.2　プレイリストの操作概要 50
9.8.3　連続再生操作 51
9.8.4　プレイリストの登録 55
9.9　VTR 簡易編集機能 56
9.9.1 編集操作 59
9.9.2　編集TCについて 61
9.9.3　編集システム設定 62
9.10　キーアサイン変更機能 64
9.11 GPI 機能 65
9.12 MENU 操作 67
9.13 MENU のバンク設定 67
9.14　バージョンアップ機能 68
10.　コネクタ仕様 70
11.　一般仕様 73
12.　通信仕様 74
13.　外観 75
14.　MENU　一覧 77
15.　お問い合わせ 96

1. はじめに

“MDC-70T“をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をお読みください。
また、本書はお読みになった後も大切に保管して下さい。

2. 開梱および確認

本製品は、以下の構成表に示す品物が入っています。
すべての品物が揃っているかご確認下さい。

構成表

品　名	数　量	備　　考
MDC-70T	1	
専用ACアダプタ	1	
保証書	1	
取扱説明書	1	

3. 安全に関する注意

安全にご使用いただくために、注意・警告事項を必ずお守りください。

危険

●万一、異常な発熱、発煙、異臭がするなど、異常状態のまま使用すると
火災や感電の原因になります。
ACアダプタをコンセントから抜きサポートにご連絡下さい。

警告

●付属のACアダプタ以外で使用しないで下さい。
火災の原因になります。

●コード類は正しく配置して下さい。
AC アダプタや接続ケーブルは、足にひっかけると本体の落下やケーブルを傷め、火災や
感電の原因になります。

●濡れた手で電源プラグを触らないで下さい。
感電の恐れがあります。

●水のある場所に設置しないで下さい。
濡れると、火災や感電の原因となることがあります。

●内部に異物を入れないで下さい。
異物が入ると、火災や感電の原因となることがあります。

注意

●AC アダプタを抜くときには、ケーブルを引っ張らないで下さい。
ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

●外装を外さない、改造しない
外装を外したり、改造したりすると、感電の原因となることがあります。

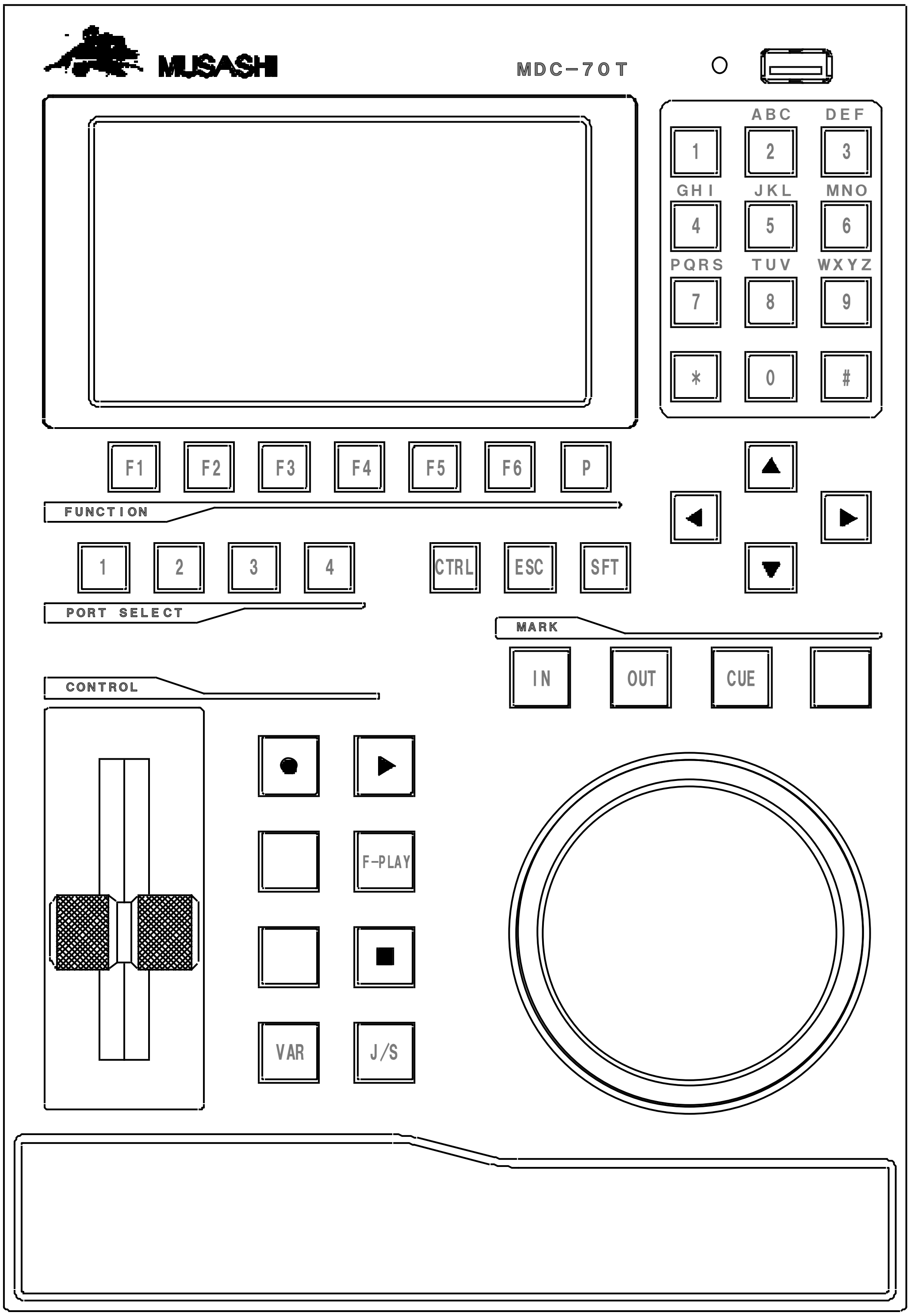
4. 概要

MDC-70T はディスクレコーダ及び VTR のリモートコントロールを行う装置です。
PLAY/STOP/REC/JOG/SHUTTLE 等の制御を RS-422 により行います。
制御ポートは4ポート装備しています。
JOG/SHUTTLE ダイヤルを備え編集点の確認が容易に行えます。
タイムコードを利用した CUE 登録が可能で迅速な番組の頭出しが可能です。
液晶表示機によるCUEリスト表示、クリップ表示が可能です。

5. 特徴

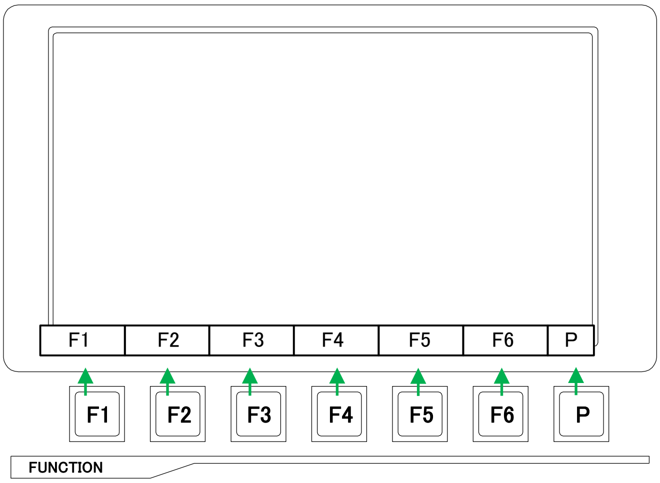
- CUE の登録と CUE UP 操作が可能です。
- 4 ポートまで制御が可能です。
- 多彩な CUE 登録が可能です。
- テンキーによるダイレクトに打ち込み GOTO が可能です。
- 最大 4 ポートまで同時 REC/ PLAY/ CUE UP が可能です。(※調相はしていません。)
- JOG/SHUTTLE ダイヤルを備え CUE 点の確認等が容易です。
- GPI を備え外部から PLAY/STOP/REC させることか可能です。
- VTR9ピンプロトコル制御と VDCP プロトコル制御の混在が可能です。
- 2 系統の制御信号での収録制御と再生制御を感覚的に行う事が可能です。
- 対象デバイスの素材制御が可能です。
- 登録した CUE 点を使用しプレイリストの作成が可能です。
- T-Bar 操作によるスロー再生が可能です。

6. パネル部の名称及び機能



①　液晶表示部とファンクションボタン

カラー液晶表示機は機能毎に表示を切替えて使用します。

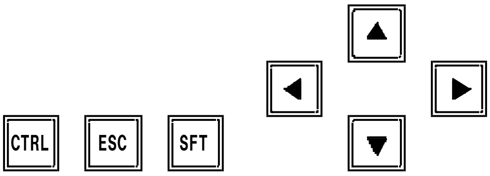


【ファンクション表示エリア】

P ボタン	ページを切り替えます。
F1～F6 ボタン	機能を切り替えます。

※SFTボタンにより拡張機能が表示されます。

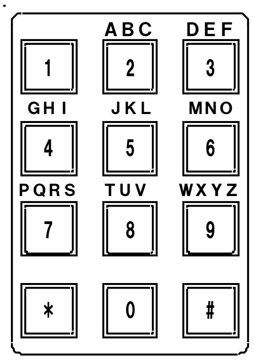
②　コントロールキー



上下▲ボタン	ファイルリスト・CUEリストをスクロールします。
左右△ボタン	ファイルやCUE点を CUE　UP します。
CTRL ボタン	CTRL キーです。
ESC ボタン	操作をキャンセルします。
SFT ボタン	シフトキーです。

③　テンキー

テンキーでは下記の機能を行う事が可能です。



【Device Status 画面】

GOTO 動作が可能です。

【Clip List 画面】

T モード／S モード／L モードの機能を切り替える事が可能です。

＊ + テンキー(1・2・3)　　　T／S／L モードの切替え

SFT ＋ ＊　　　T／S／L モードの切替え

＜GOTO 機能＞

画面右上の T 表示(T モード)

TCを指定してCUE　UP行う機能です。

テンキーで TC を入力して＃ボタンで CUE　UP します。

＜テンキーCUE 点の登録機能＞

画面右上の S 表示(S モード)

CUE点をテンキーと画面両方に登録するモードです。

ページ切替えは SFT ＋ テンキーで行います。

＜テンキーCUE 点の登録機能＞

画面右上の L 表示(L モード)

CUENo による呼出し機能

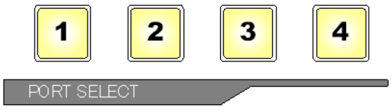
テンキーで CueNo を入力して＃ボタンで CUE　LIST に飛びます。

左△ボタンで CUE　UP します。

【クリップのタイトル入力機能】

SetSym 時の Symbol の入力を行います。

④　ポート選択キー



制御ポートの選択に使用します。

【Default 機能】

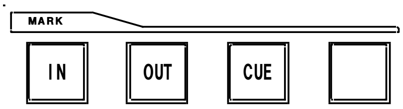
ポートを選択して制御します。

複数ポートを同時制御する時は、**SFT+ポート番号**（1～4）で選択可能です。

【Coupling】

収録を行いながら再生制御を行います。

⑤　マーク　キー



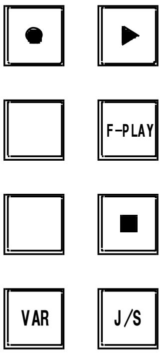
クリップリスト画面にて収録中素材、再生素材のCUE点を登録します。

CUE点は、IN点のみの登録、又はIN/OUT 点の登録が可能です。

INキー・OUT ボタン	IN/OUT の CUE 点の登録を行います。
CUE ボタン	CUE の登録を行います。（IN点のみ）
白ボタン	任意に機能が設定可能なボタンです。

設定MENU		
27801	$MarkBlankKeyAsn	MARK エリアの Blank　キーを変更します。 Blank　：何もしません。 Search　：CUE 点を Search します。 Login　：カップリング中に REC 側 CUE 点を登録します。

⑥　デバイスコントロール　キー



REC

REC ＋ PLAY　収録を開始します。

REC ＋ STOP　収録を停止します。

REC　EE/PB の切替えを行います。

関連メニュー　※ご操作防止		
28204	RecStopOprTimer	REC停止時の操作を長押しで停止する様に時間指定します 0 frame

関連メニュー　:VDCP プロトコル機能 ※XDCAM_Station 使用時 00:00:00:00 にするとデバイス依存で使用可能です。		
31100	Sdsk:RecDur	VDCP プロトコルの収録時間の指定 00:00:00:00

PLAY

再生します。

SFT ＋ PLAY　ClipList 画面・PlayList 画面にて、自動で追っかけ再生を開始します。

F-PLAY

【Device Status 画面】

VDCP プロトコルを使用してカップリング動作をしている時に自動で追っかけ再生を開始します。

【Clip List 画面】

クリップの IN～OUT 再生を行います。

【Play List 画面】

クリップの連続再生を行います。

STOP

再生動作を停止します。

SFT + STOP　STNDBY OFF します。

ポート選択ボタン + STOP　EJECT 動作します。

白キー(上)　　　任意に機能が設定可能なボタンです。

関連メニュー　:VTR プロトコル機能		
27811	$ContBlankKeyAsn1	CONTROL エリアの Blank キー1を変更します。 Blank　何もしません。 Standby　STNDBY ON します。 Rew　REW 動作します。 F.FWD　FF 動作します。 Var1　Var1で設定した%で再生します。 Var2　Var2 で設定した%で再生します。 Var3　Var3 で設定した%で再生します。 Top　XDS 拡張コマンド TOP 動作します。 End　XDS 拡張コマンド END 動作します。 Pre　XDS 拡張コマンド PREV 動作します。 Next　XDS 拡張コマンド NEXT 動作します。

※機能を有効にするには電源の再起動が必要です。

※XDS 拡張コマンドとは XDS-PD2000 を VTR プロトコルで使用した時に有効です。

白キー(下)　　　任意に機能が設定可能なボタンです。

関連メニュー　:VTR プロトコル機能		
28812	$ContBlankKeyAsn2	CONTROL エリアの Blank キー1を変更します。 Blank　何もしません。 Standby　STNDBY ON します。 Rew　REW 動作します。 F.FWD　FF 動作します。 Var1　Var1で設定した%で再生します。 Var2　Var2 で設定した%で再生します。 Var3　Var3 で設定した%で再生します。 Top　XDS 拡張コマンド TOP 動作します。 End　XDS 拡張コマンド END 動作します。 Pre　XDS 拡張コマンド PREV 動作します。 Next　XDS 拡張コマンド NEXT 動作します。

※機能を有効にするには電源の再起動が必要です。

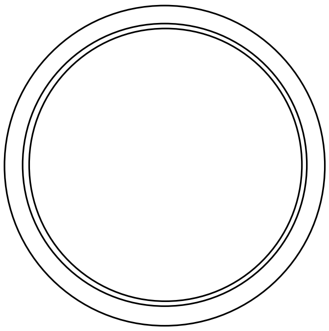
※XDS 拡張コマンドとは XDS-PD2000 を VTR プロトコルで使用した時に有効です。

VAR　　　　　T-Bar を選択します。

J/S　　　　　JOG と SHTTLE を選択します。

関連メニュー		
27F01	SpeedMode	T-Bar 操作とJOG操作の切替え方法を指定します。 Button　:ボタンによる切替え Direct　:操作による切替え
27F02	DialSafeStopper	Direct 切替え操作時、JOG の操作方法を指定します。 Disable　:　Stopper 機能は無効になります。 Enable　:　Stopper 機能は有効になります。

⑦　JOG/SHUTTLE



ダイヤル　　　　J/S ボタンで JOG 動作と SHUTTLE 動作を切り替えます。

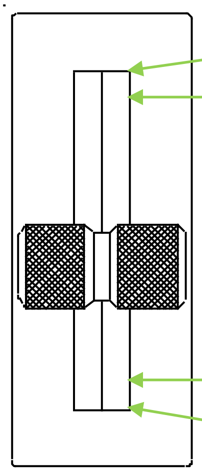
SFT+上下▲　　Clip List 画面・Material List 画面・Play List 画面・MENU 画面の List 表示の選択をダイヤルで行う事も可能です。

⑧　USB

・ソフトウェアのバージョンアップが可能です。

・Bank 機能（メニュー設定内容の保存）が可能です。

⑨　T-Bar



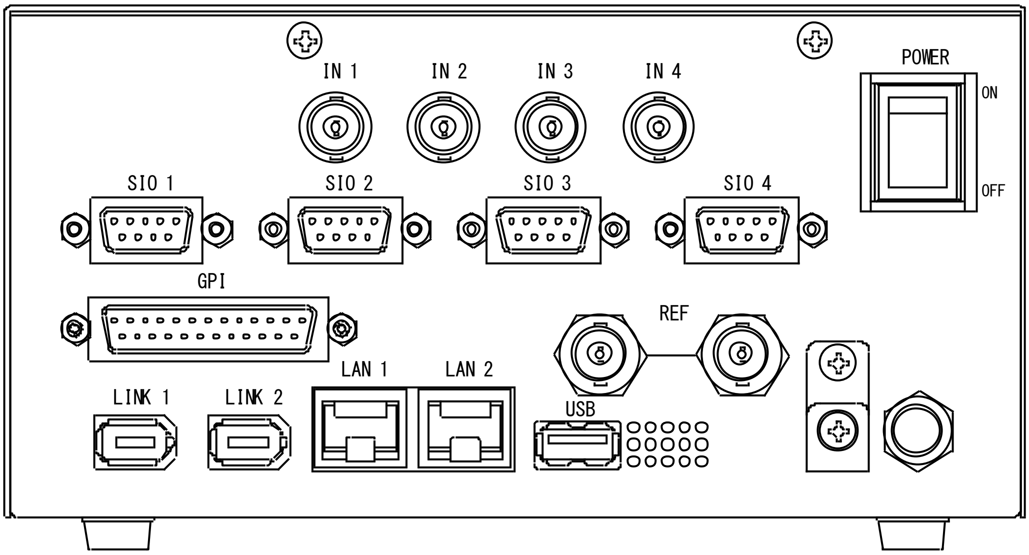
0～1倍速を可変速で再生します。

T-Bar の上下部にはスプリングにより早送り・巻戻しを行う事も可能です。

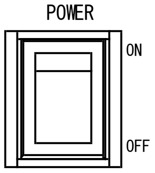
関連メニュー		
27F01	SpeedMode	T-Bar 操作とJOG操作の切替え方法を指定します。 Button　：ボタンによる切替え Direct　：操作による切替え
27F02	DialSafeStopper	Direct 切替え操作時、JOG の操作方法を指定します。 Disable　：　Stopper 機能は無効になります。 Enable　：　Stopper 機能は有効になります。

関連メニュー		
28101	T-BarLimit	T-Bar のスプリング位置からの動作を指定します。 Free　：早送り・巻き戻し動作します。 Low　：下位置以下で停止状態です。 High　：上位置以上でPLAY状態です。 Low&High

7. 背面パネル部の名称及び機能



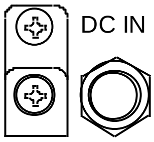
① POWER



電源SWです。

※電源を切断してもCUE 点は覚えています。

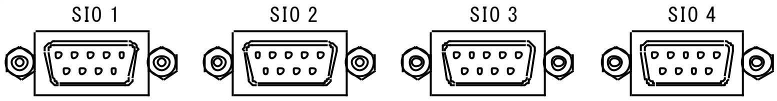
② DC IN



専用 AC アダプタを接続します。

ACアダプタのプラグを差し込み左に回してご使用下さい。

③ SIO1～４

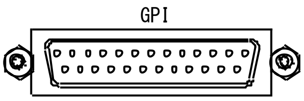


RS-422 制御コネクタです。

VTR 及びディスクレコーダと接続します。

※カップリング機能を使用する時は RS422 ケーブル２本で接続します。

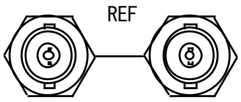
④　GPI



GPI コネクタです。入力　8個／出力　8個の制御を

メニュー設定で機能を割り当て使用する事が可能です。

⑤　REF



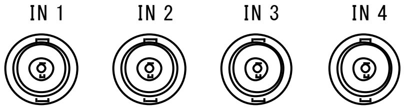
基準ビデオ信号を入力します。

2値SYNC／3値SYNC に対応しています。

NTSC 又は PAL 基準ビデオ信号を入力します。（ループスルー付き）

※基準ビデオ信号を入力しなくても動作しますが、CUE点及び編集点で数 Frame の誤差が生じる可能性があります。

⑥　IN1～IN4



・SIO1～4で制御している映像を入力する事により、CUE 点のサムネイル画像を登録することが可能です。またポート選択ボタンと連動して画像の確認が可能です。

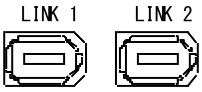
・映像信号は NTSC アナログビデオ信号を入力します。

・映像信号は必ず REF に同期させて下さい。

※映像信号を入力しなくても動作可能です。

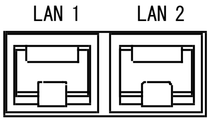
関連メニュー		
27711	Port1-DevStsIcon	PORT のアイコンを画像入力にするか Symbol にするか選択します。 PortSym　:上記(27701)のシンボルに従います。 Video-IN1　:IN1 画像を表示します。
27712	Port2-DevStsIcon	PortSym 同上
27713	Port3-DevStsIcon	PortSym 同上
27714	Port4-DevStsIcon	PortSym 同上

⑦　LINK1 / LINK2



システム拡張用コネクタです。弊社製品の機器間相互通信が可能です。

⑧　LAN1 / LAN2



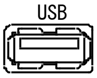
・弊社PCアプリケーションの通信に使用可能です。

・LAN で制御可能なデバイスに対応する予定です。（現在未対応）

・10BaseT/100BaseT

・AutoMDIX 機能を搭載しているのでクロス／ストレート問わず接続可能です。

⑨　USB



未使用

8. 操作画面と機能

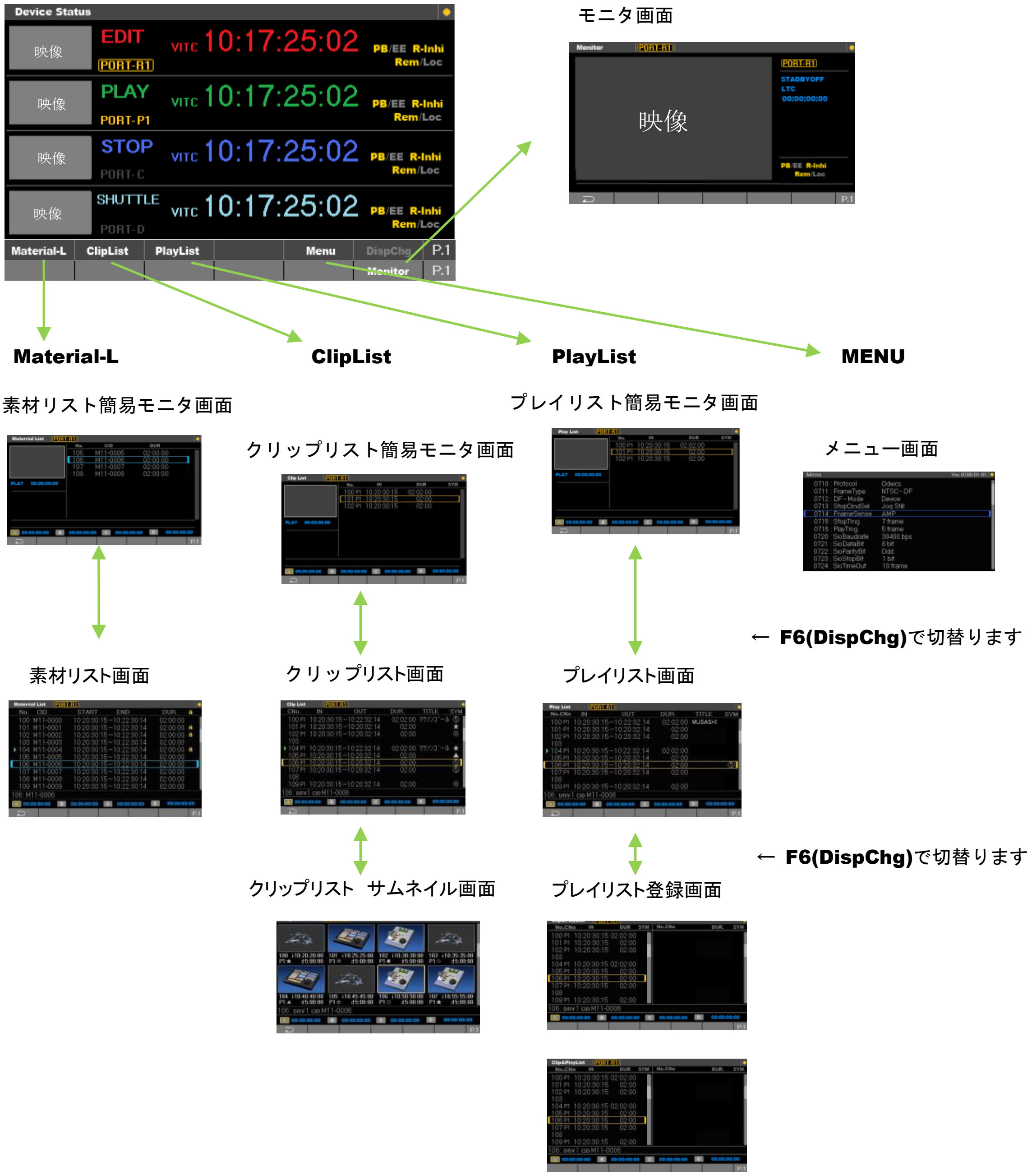
操作画面は下記の機能が装備されています。

画面毎にファンクション表示エリア内の機能が切り替わり、詳細動作を行う事が可能です。

操作画面は、接続対象プロトコルにより変わります。

※VDCP プロトコル選択時、簡易編集画面は表示されません。

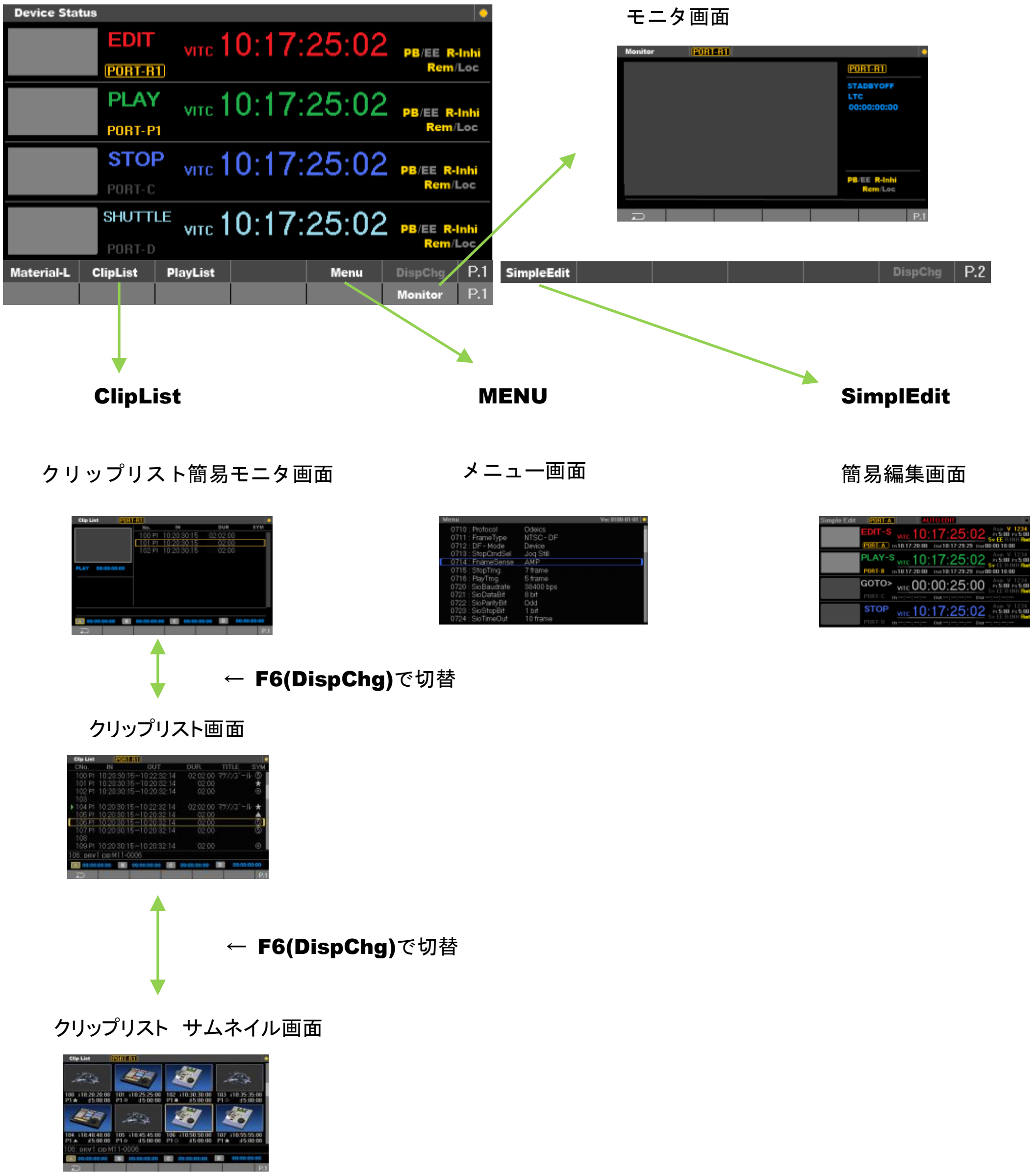
8.1　DiskRecoder 接続時の画面



8.2　VTR 接続時の画面

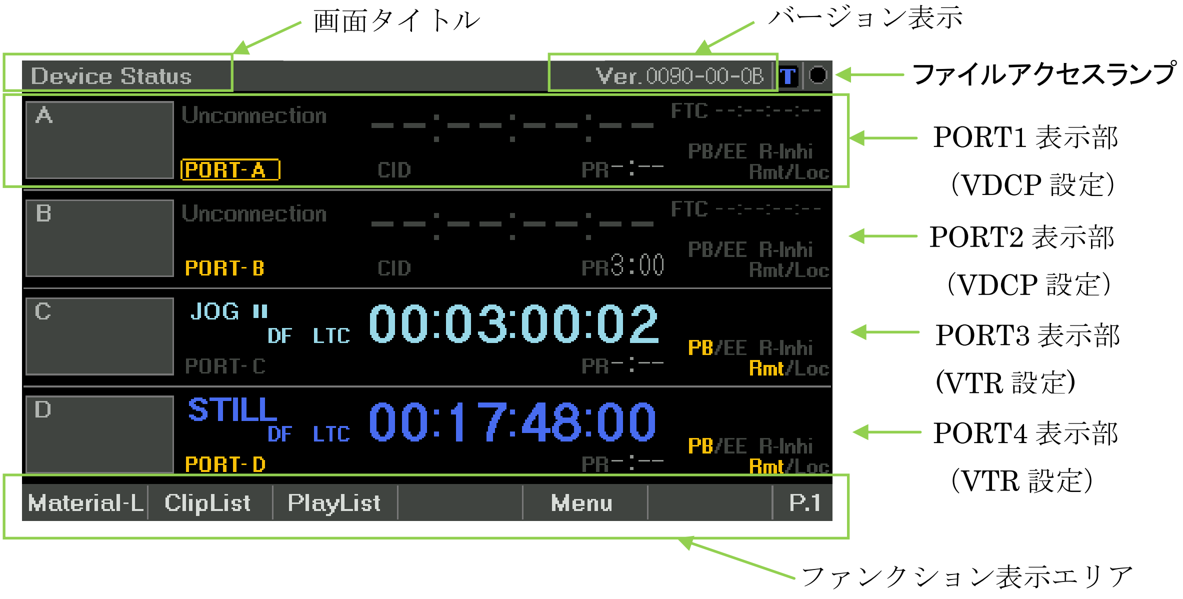
VTR プロトコル選択時は、「Material–L」[PlayList」は選択出来ません。

画面毎にファンクション表示エリア内の機能が切り替わり、詳細動作を行う事が可能です。



8.3　デバイスステータス画面

ステータスモード画面です。



【画面タイトル】

機能によりタイトルが変わります。

【バージョン表示】

ファームウェアのバージョンです。

【PORT1～4表示部】

SIO1～4の制御に対応しています。

【ファンクション表示エリア】

機能の選択を行います。SFT キー又は P キーで表示を切替て使用します。

【ファイルアクセスランプ】

画面右上の丸印はファイルアクセスランプです。

故障の原因になりますので、ランプが点灯中（黄色）は電源断を避けて下さい。

8.4　PORT 表示部

① 名称表示部

メニューの設定に従いポート名称の表示又は、入力映像の表示が可能です。

ポート名称は A/B/C/D/V1/V2/V3/V4/R1/R2/R3/R4/P1/P2/P3/P4 がメニューで選択可能です。

＜関連メニュー＞

Consol メニュー　シンボル名称の変更とサムネイル表示		
27701	Port1-Symbol	PORT1 のシンボルを変更します。 A～D / V1～V4 / R1～R4 / P1～P4
27702	Port2-Symbol	同上
27703	Port3-Symbol	同上
27704	Port4-Symbol	同上
27711	Port1-DevStsIcon	PORT1のアイコンを画像入力にするか Symbol にするか選択します。 1)　PortSym　:上記(27701)のシンボルに従います。 2)　Video-IN1　:IN1 画像を表示します。
27712	Port1-DevStsIcon	同上
27713	Port1-DevStsIcon	同上
27714	Port1-DevStsIcon	同上

② ステータス表示部

③ TC/CTL 表示部

④ タイムコード表示部

※対象機器の状態により色が変わります。 STOP（青） PLAY(緑) REC(赤)

⑤ FTC　表示

※VTR プロトコル使用時は表示しません。

⑥ デバイスの状態表示

PB/EE ： 選択状態の時“黄”になります。

R-Inhi ： 収録禁止状態の時“赤”になります。

⑦ REMOTE/LOCAL 表示

VTR の REMOTE/LOCAL 状態を表示します。

⑧ ポート選択表示

ポート選択ボタンに連動して表示します。選択状態の時“黄”になります。

⑨ 素材のファイル名を表示します。

9. 機能と操作方法

MDC-70T では下記の機能が装備されています。

・Collection 機能

プロトコル及び使用方法を簡単に設定する機能です。

・バージョンアップ機能

USB メモリを使用してバージョンアップを行う機能です。

・ディスクレコーダ等の素材情報の取得とリスト表示

マテリアルリストモードでファイル管理されている機器のクリップ情報の確認が行えます。

※VDCP プロトコル使用時

・ステータス＆素材名の表示

VTR の設定と VDCP の設定で表示内容が異なります。

・GOTO機能

タイムコードをテンキーにて入力し、頭出しをする機能です。

・VAR 再生機能

・PREROLL 機能

・EJECT 機能

・EE 機能

・CUE機能

タイムコードを登録して、頭だしをする機能です。

・カップリング機能

収録系制御と再生系の制御の2ポートを同時に制御する事により、感覚的にタイムコードの登録／頭だしをする機能です。

・パラ制御機能

複数のポートに同時に制御する事が可能です。

・連続再生機能

クリップリストで作成クリップをプレイリストに並べる事により連続再生する機能です。

※VDCP プロトコル使用時

・簡易編集機能

２台の VTR を使用してアッセンブル編集及びインサート編集を行う事が可能です。

・GPI機能

メニュー設定により GPI での制御を行う事が可能です。

9.1 Collection 機能

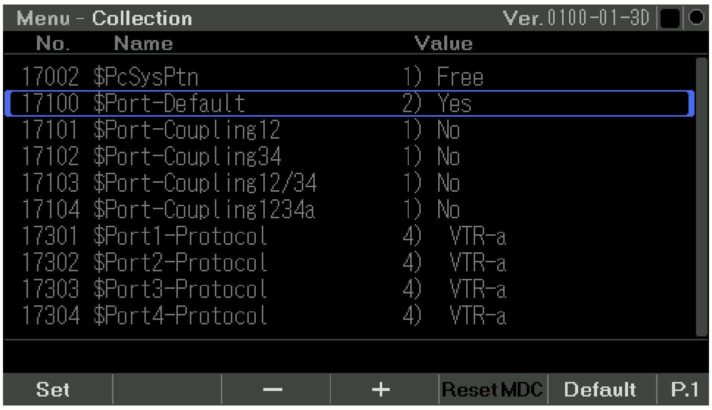
Collection 機能とは使用デバイスのプロトコル及びポートの使用方法を設定する機能です。VDCP プロトコル・VTR プロトコル等の選択と複数台の同時制御等の設定を一括して行う事が可能です。MENU 内の Consol や Sio で細かな設定を行わなくても、Collection メニューで設定を行う事が可能です。

Collection メニュー 設定値の変更は F1(Set)/F3(－)/F4(＋)で行います。		
17000	$CutomPtn	カスタム設定です。 0000:標準仕様
17002	$PcSysPtn	コントローラモードと PC モードの切替えを行います。 Free ： 無効(前回の設定を保持します) StandAlon ： 通常モードで使用します。(VTR 制御等) MvxMode-A ： SlaveMode(Mvx) PcMode-A ： SlaveMode A PcMode-B ： SlaveMode B PcMode-C ： SlaveMode C ※SlaveMode で起動すると画面は SlaveMode と表示され、PC 等と通信が確立すると、アプリケーション依存の画面に切り替わります。 ※通常モードに戻すには ESC+SFT ボタンを押しながら電源を投入して下さい。投入後に本 MENU を StandAlon に戻して下さい。
17100	$Port-Default	VTR 単体制御及び同時制御のみ行う時に選択します。 Yes： No ： 無効(前回の設定を保持します)
17101	$Port-Coupling12	1.2 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。
17102	$Port-Coupling34	3.4 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。
17103	$Port-Coupling12/34	1.2 と 3.4 PORT を選択し カップリング機能で使用する時に選択します。
17104	$Port-Coupling1234a	1.2 と 3.4 PORT を同時に カップリング機能で使用する時に選択します。
17301	$Port1-Protocol	PORT 1 で使用するプロトコルを選択します。 Free ： 無効(前回の設定を保持します) Default ： VTR プロトコルに設定します。 Through ： 保守用 VTR-a ： VTR プロトコルに設定します。 XDS-a VDCP R1 ：VDCP プロトコル REC ポートに設定します。 XDS-a VDCP P1 ：VDCP プロトコル PLAY ポートに設定します。 SR1K-a VDCP R1 SR1K-a VDCP P1 SR1K-a VDCP R2 SE1F-a VDCP P2
17302	$Port2-Protocol	同上
17303	$Port3-Protocol	同上
17304	$Port4-Protocol	同上

※変更後は ResetMDC(**SFT+F5**)で再起動して下さい。

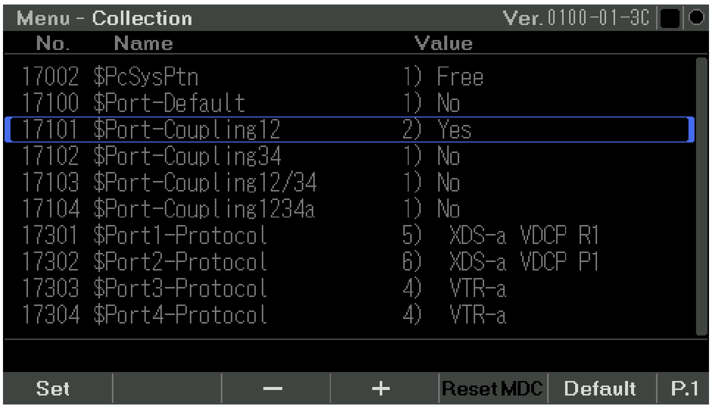
設定例　．１

ポート1～4を使用して、4台の VTR を制御する場合



設定例　．２

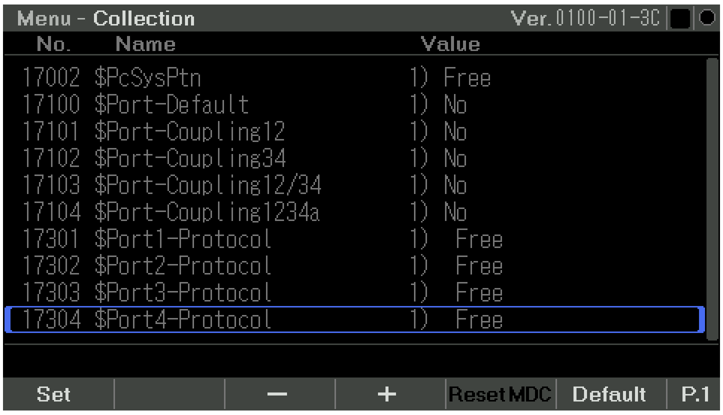
ポートの1．2を使用して XDCAM STATION の InterlDisk で、録画しながら再生制御をする場合（VDCP プロトコル）ポートの3．4は VTR を接続する設定



特殊な使用方法

Collection 機能を使用せずに直接プロトコル等を設定する。

前回の設定内容は Sio/Consol 内に保持しています。



9.3 通常機能

9.3.1 録画の開始と再生

録画の開始　REC＋PLAY を押すと収録を開始します。

VTR プロトコル：収録を開始します。

VDCP プロトコル：ファイルを作成し収録を開始します。

収録中は“赤”表示になります。

録画の停止　**REC + STOP ボタン**を押すと収録を停止します。

停止中は“青”表示になります。

再生動作　**PLAY ボタン**で再生します。

再生中は“緑”表示になります。

バリアブル再生動作

バリアブル再生中は“水色”表示になります。

ディスクレコーダ再生動作　通常モード使用時

1) PORT 選択ボタンでポートを選択します。
2) マテリアルリスト画面でファイルを選択し Load ボタン（P2-F1）で読込ます。
3) デバイスステータス画面に戻り、選択したファイルが読み出されている事を確認します。

4) **PLAY ボタン**で再生します。

ディスクレコーダ再生動作　カップリングモード使用時

カップリング画面では収録ポート素材を再生ポートに読出し、

追っかけ再生する事が可能です。

F- PLAY　ボタンを押します。

※数秒のディレイ（デバイス依存）後再生が開始します。

9.3.2 VAR 再生

ファンクション表示エリアの **P3** では VAR1/2/3 の再生が可能です。

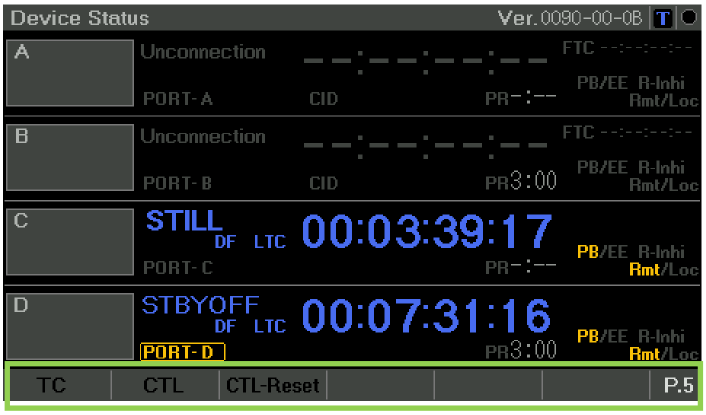
設定メニュー		
27E01	Preset VAR−1	VAR 再生のスピードを指定します。 100%　設定の変更は可能です。
27E02	Preset VAR−2	VAR 再生のスピードを指定します。 50%　設定の変更は可能です。
27E03	Preset VAR−3	VAR 再生のスピードを指定します。 30%　設定の変更は可能です。

VAR 再生を白ボタンに割り当てる事も可能です。

関連メニュー　:VTR プロトコル機能		
27811	$ContBlankKeyAsn1	CONTROL エリアの Blank キーを変更します。 Blank :何もしません。 Standby : STNDBY ON します。 Rew : REW 動作します。 F.FWD :FF 動作します。 Var1:VAR1 で設定した%で再生します。 Var2:VAR2 で設定した%で再生します。 Var3:VAR3 で設定した%で再生します。 Top:XDS 拡張コマンド TOP 動作します。 End:XDS 拡張コマンド END 動作します。 Pre:XDS 拡張コマンド PREV 動作します。 Next:XDS 拡張コマンド NEXT 動作します。
27812	$ContBlankKeyAsn2	同上

※機能を有効にするには電源の再起動が必要です。

9.3.3　TC と CTL　指定



ファンクション表示エリアの **P5** では TC/CTL の切替えが可能です。

SFT＋F1(TC)/F2(CTL)/F3(CTL−Reset)で切替えが可能です。

9.3.4　PREROLL　指定

Preroll/Postroll はファンクション表示エリアの **P4** で画面毎に **Preroll** の登録を行います。登録はポート毎・Device Status 画面・Clip List 画面・Play List 画面毎に登録を行う事が可能です。

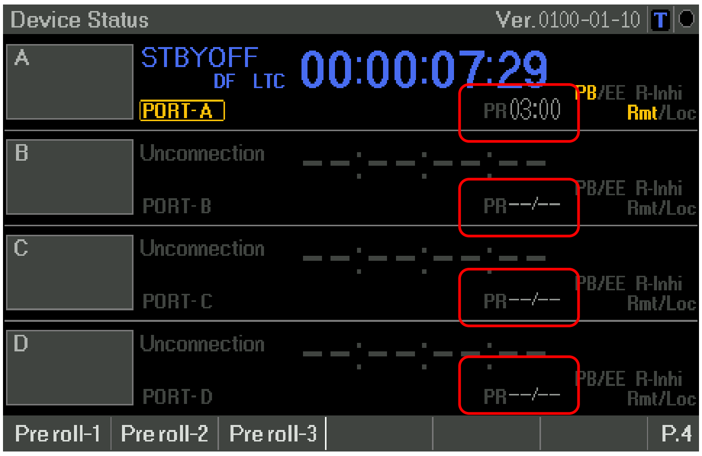
Preroll 値はファンクションエリアに6個までプリセットしておく事が可能です。

通常は−1/−2/−3 を表示していますが、SFT を押すと−4 /−5 /−6 が選択可能です。

※Device Status 画面と ClipList 画面は連動していませんので
　各々設定を行って下さい。

【Device Status 画面】

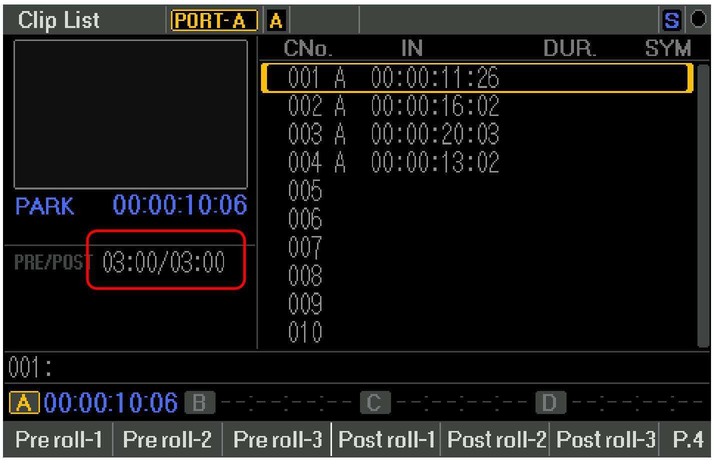
　左右△を押すと現在の TC よりプリロール動作します。



【ClipList 画面】

　左右△を押すと IN 点の TC よりプリロール動作します。

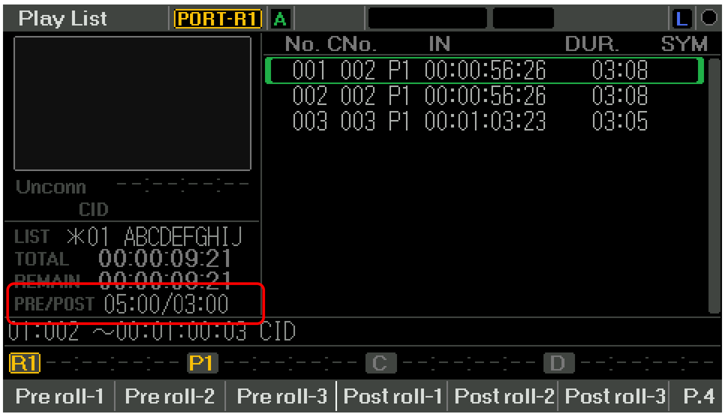
　SFT+左右△を押すと IN 点の TC に CUE UP します。



【PlayList 画面】

左右△を押すと IN 点の TC よりプリロール動作します。

SFT+左右△を押すと IN 点の TC に CUE UP します。



【MENU】

プリセット時間は MENU で変更する事が可能です。

関連メニュー	プリセット Preroll 時間の変更	
27901	Preroll-1	プリロール時間の指定 03:00　時間変更可能です。
27902	Preroll-2	プリロール時間の指定 05:00　時間変更可能です。
27903	Preroll-3	プリロール時間の指定 07:00　時間変更可能です。
27904	Preroll-4	プリロール時間の指定 10:00　時間変更可能です。
27905	Preroll-5	プリロール時間の指定 20:00　時間変更可能です。
26906	Preroll-6	プリロール時間の指定 30:00　時間変更可能です。

関連メニュー	プリセット Postroll 時間の変更	
27911	PostRoll-1	ポストロール時間の指定 03:00　時間変更可能です。
27912	PostRoll-2	ポストロール時間の指定 05:00　時間変更可能です。
27913	PostRoll-3	ポストロール時間の指定 07:00　時間変更可能です。
27914	PostRoll-4	ポストロール時間の指定 10:00　時間変更可能です。
27915	PostRoll-5	ポストロール時間の指定 20:00　時間変更可能です。
27916	PostRoll-6	ポストロール時間の指定 30:00　時間変更可能です。

9.3.5　GOTO 機能

タイムコードをテンキーにて入力し CUE UP する機能です。

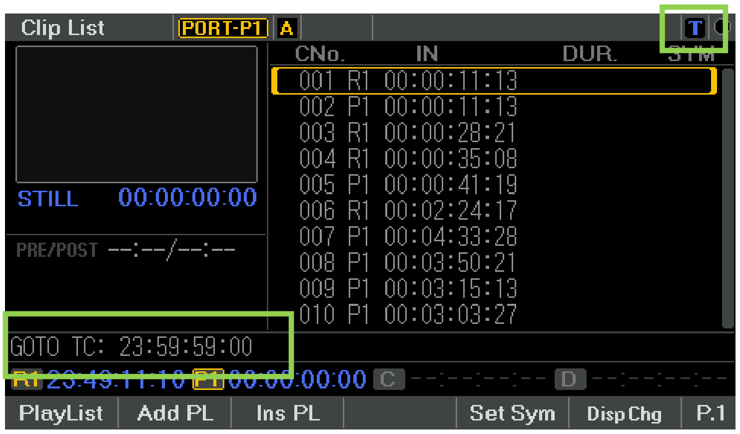
【Device Status 画面】

テンキー部で数字キーを押すと、TC 表示部が GOTO 表示になり TC 入力可能です。

TC 入力後　#　を押すと CUE UP します。

入力を途中でキャンセルする場合は **ESC** を押して下さい。

【Clip List 画面】



テンキー部で数字キーを押すと、GOTO 表示になり TC 入力可能です。

TC 入力後　#　を押すと CUE UP します。

入力を途中でキャンセルする場合は **ESC** を押して下さい。

9.4 クリップリスト機能

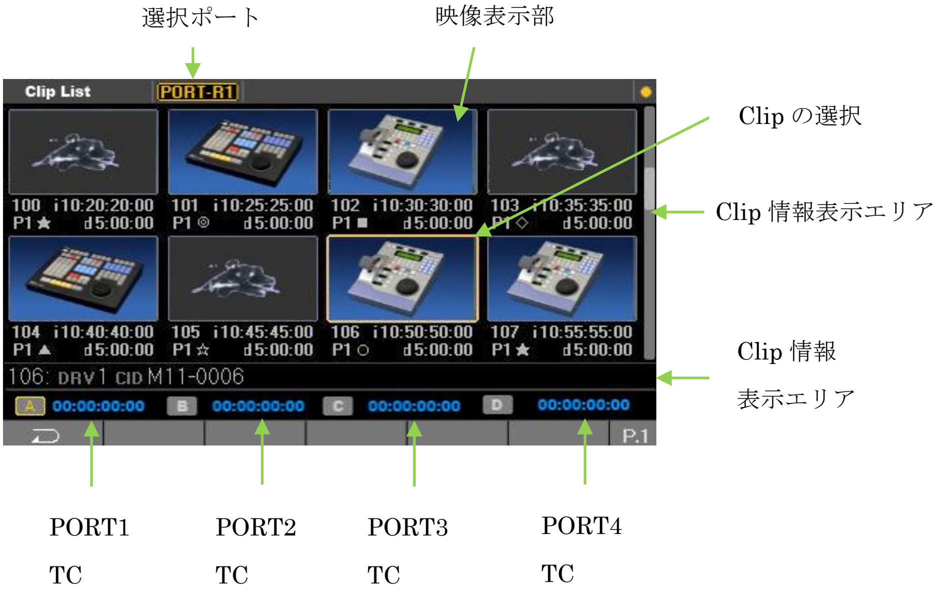
CUE キー及び IN キー/OUT キーを押すと、対象機器のタイムコードをクリップリストに登録して、頭出しを行う事が可能です。タイムコードの登録は、IN 点の登録と IN/OUT 点の登録が可能です。クリップの表示は3パターンの表示方法を切替えて使用する事が可能です。画面の切替えはファンクション表示エリアの DispChg(F6)で行います。

登録可能数 ： 1ポート(バンク)あたり 999 個

【クリップリスト簡易モニタ画面】

【クリップリスト画面】

【クリップリスト　サムネイル画面】



※登録可能なサムネイル画像は100枚です。

9.4.1 Clip の操作概要

クリップリスト画面では下記の機能がファンクションエリアを使用して操作する事が可能です。

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	プレイリスト	Add PL	Ins PL		SetSym	DispChg
P.1 Shift	Material-L		OvwPL		SetTitle	Monitor
P.2	プレイリスト		Copy	Paste	・・・	DispChg
P.2 Shift	Material-L				Delete	
P.3					・・・	
P.3 Shift					All Delete	
P.4	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P.4 Shift	Preroll-4	Preroll-5	Preroll-6	Postroll-4	Postroll-5	Postroll-6

【プレイリスト】 プレイリスト画面に移行します。

【Material-L】 素材リスト簡易モニタ画面に移行します。

【Monitor】 モニタ画面に移行します。

【Add PL】 選択している CUE 点を PLAY LIST の最後に追加登録します。

【Ins PL】 選択している CUE 点をプレイリストに挿入登録します。

【Ovw PL】 選択している CUE 点をプレイリストに上書き登録します。

【Set Sym】 SYM 欄に○▲★等のシンボルを入れる事が出来ます。

【Set Title】 TITLE 欄に英数カナ文字を入れる事が出来ます。

【DispChg】 画面表示を切替ます。

【Copy】 クリップをコピーします。

【Paste】 クリップをペーストします。

【Delete】 クリップを削除します。

※削除されたクリップ 1 個は内部メモリに保持されている為、Paste 操作で戻す事が可能です。

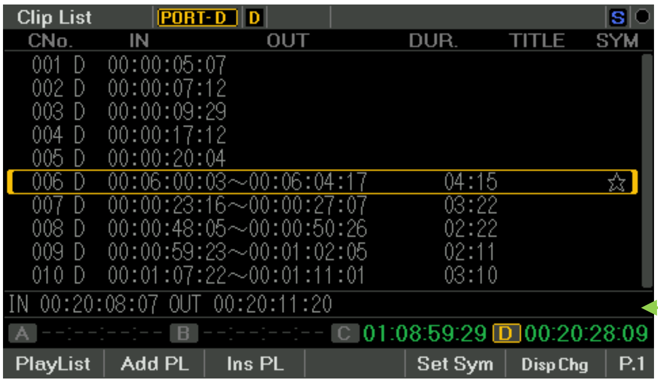
【All Delete】 全てのクリップを削除します。

【Preroll-*】 Preroll 値を SET します。

【Postroll-*】 Postroll 値を SET します。

9.4.2 クリップの登録操作

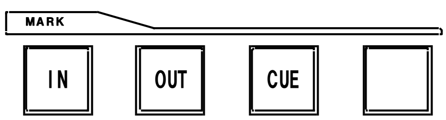
CUE 点は、IN/OUT 点登録と IN 点登録を混在して登録する事が可能です。



Clip 情報

表示エリア

MARK エリア



IN/OUT はクリップ情報表示エリアに入り **CUE ボタン**で登録されます。

CUE ボタンのみ押すと **IN 点**として登録されます。

CUE 点の登録は未登録部分に登録する **SEARCH 機能**と

選択した場所から上書登録する **OveWrite 機能**がメニューで選択可能です。

Console メニュー	Clip の登録方法の変更	
29601	ClipList-SetMode	Clip List へのCUE点の登録方法を選択します。 Search ：若番より空いている所に登録します。 OverWrite ： カーソル位置に上書します。

Consol メニュー	白ボタンの機能変更	
27801	$MarkBlankKeyAsn	MARK エリアの Blank キーを変更します。 Blank ：何もしません。 Search ：CUE 点を Search します。 Login ： カップリング中に REC 側の CUE 点を登録します。

CUE の登録速度

CUE 点の連続登録速度は、サムネイル画像を取得するか否かで変わります。

サムネイル画像取得を行うと1秒程度登録に時間がかかります。

サムネイル画像の取得を行わない時は数 FRAME で登録が可能です。

関連メニュー	サムネイル画像の取得	
29600	ThumbnailCapture	CUE 点のサムネイルを IN1～4の入力画像よりキャプチャーする事が可能です。 Disable ： キャプチャー登録します。 Enable ： キャプチャーは行いません。 ※キャプチャー機能を有効にすると、 CUE 点の登録動作が遅くなります。

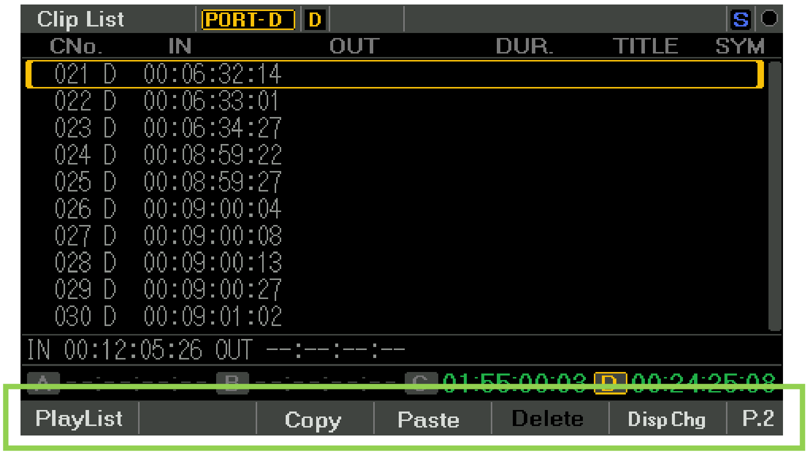
9.4.3 クリップの編集

登録したクリップ点は編集を行う事が可能です。

編集を行いたいクリップの頭出しを行い JOG ダイアル等で再登録点を選択し

SFT + IN　又は　**SFT + OUT**　で再登録する事が可能です。

9.4.4 クリップのコピペと削除操作



クリップのコピペ

登録したクリップはコピペする事が可能です。

例えば、021 番のクリップを 090 番の位置にコピーする場合。

① 021 番クリップの選択位置で **Copy** を押す。

② 上下カーソルキー等で 090 番の位置に移動する。

③ 090 番の位置で **Paste** を押すことでコピーされます。

※以降、IN／OUT／CUE ボタンによる CUE 点登録を再開する場合は、
　選択カーソルを登録したい位置に戻して下さい。

※クリップは選択カーソル位置に上書きされます。

クリップの削除

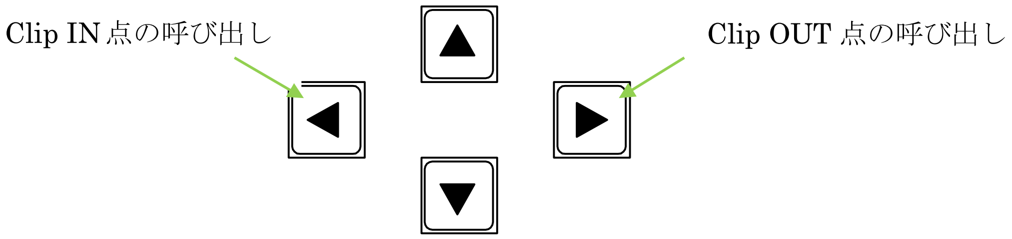
登録したクリップの削除は、**SFT+Delete** で行います。

※削除したクリップ 1 個は内部バッファに保存していますので、**Paste** で使用可能です。

クリップの全削除

登録したクリップの削除は、**P3** ページへ移動して **SFT+All Delete** で行います。

9.4.5 クリップの呼び出し操作とテンキー機能



上下▲はクリップの選択です。

SFT+上下▲S の押下で一時的にダイアルでの高速スクロールモードになります。

※他のキー操作を行うとモードは解除されます。

Preroll付き CUE UP

各ポートには Preroll 値を設定する事が可能です。

Preroll 値を含めない CUE UP は **SFT + 左▲キー** で呼出しが可能です。

CUE の呼び出し S モード

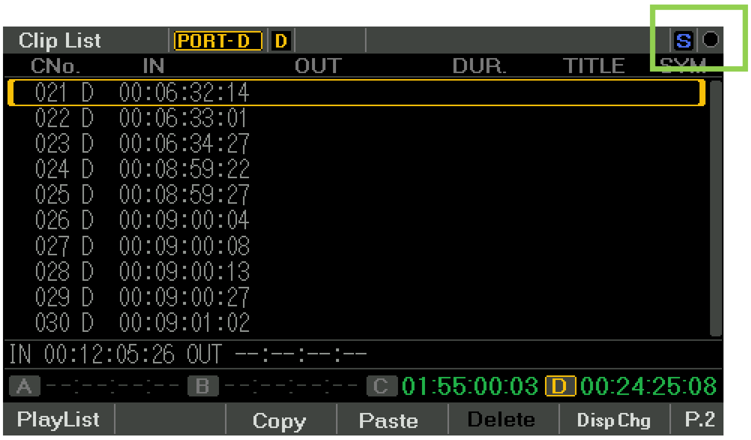
クリップリスト画面では、テンキーの機能を切替える事が可能です。

テンキー機能Sはクリップリストとテンキーが連動した画面になります。

（ **SFT+＊** 又は **＊+1.2.3** ）で画面切替え可能です。

テンキーの数字は CNo の最後の桁になりテンキーで CUE UP 可能です。

※テンキーでの CUE UP 時 Preroll 値は反映されません。



クリップリストの CNo 000～009 までをテンキーページの0に、

C010～019 までをテンキーページの1に割り付けます。

ページの切替えは、**SFT＋テンキー数字**で行います。

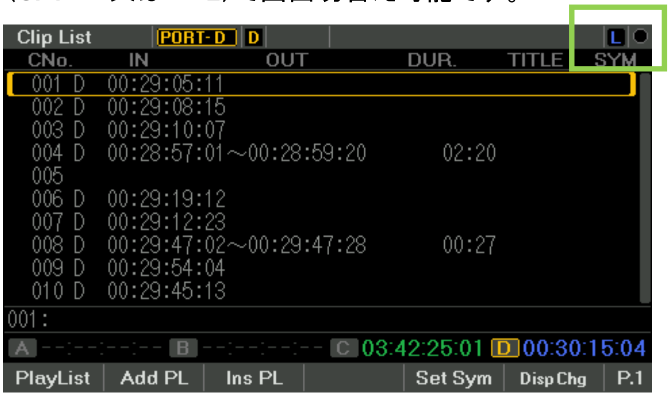
※テンキー割り当ての機能は 99 までですが、999 まで CUE 点の登録は可能です。

CUE の呼び出し L モード

クリップリスト画面では、テンキーの機能を切替える事が可能です。

テンキー機能 Lは CNo で CUE 点を呼び出す画面になります。

(**SFT+＊** 又は **＊+2**)で画面切替え可能です。



1～999までの数字を入力し#を押すと、登録したCUE点に移動します。

その後左右▲で CUE UP を行います。

関連メニュー	自動 CUE UP 設定	
27D00	AtCup-SetClp-CList	ClipList に CUE 点を登録した時に自動で CUE UP します。 Disable :CUE UP しません。 Enable :CUE UP します。

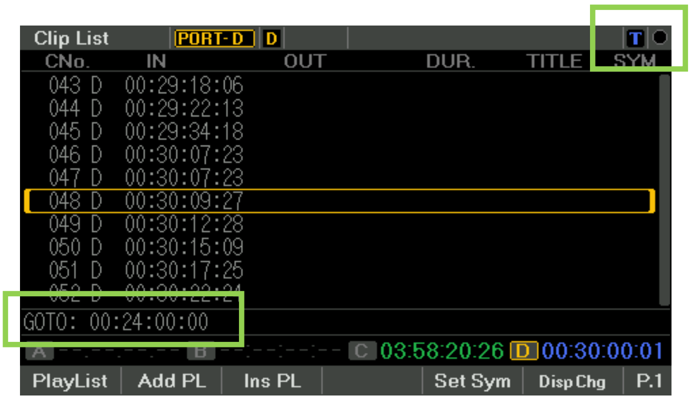
関連メニュー	自動 CUE UP 設定	
27D03	AtCup-CsrMov-Clist	Clip List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable :CUE UP しません。 Enable :CUE UP します。

CUE の呼び出し T モード

クリップリスト画面では、テンキーの機能を切替える事が可能です。

テンキー機能 T は GOTO 機能です。

(**SFT+＊** 又は **＊+1**)で画面切替え可能です。



テンキーでTCを入力して#を押すと CUE UP します。

9.5 素材リスト機能（マテリアルリスト）

マテリアルリスト画面ではレコーダ内の素材一覧を読み込み表示・選択・読み出しを行う事が可能です。また収録時は自動でファイル名を付け収録を行います。

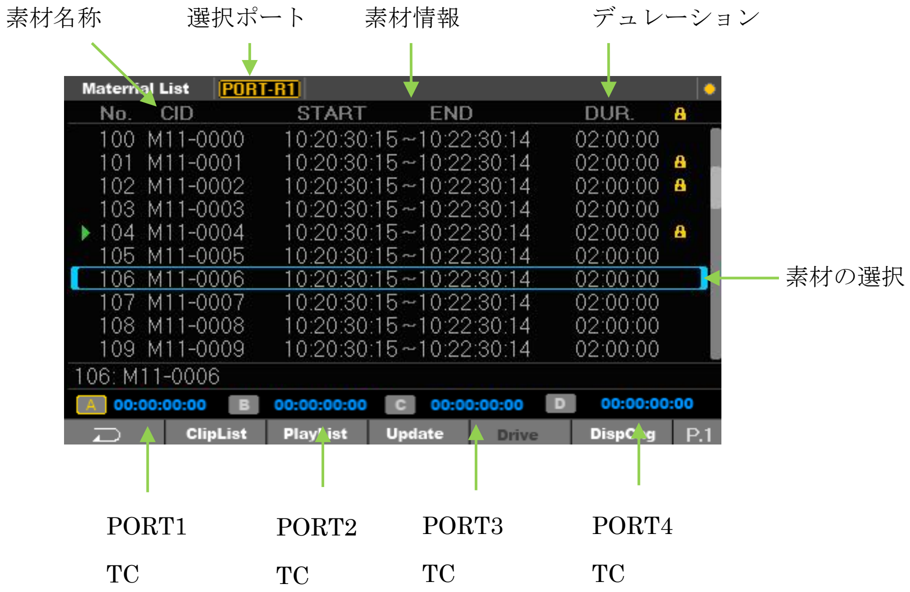
マテリアルリストの表示は2パターンの表示方法を切替えて使用する事が可能です。画面の切替えはファンクション表示エリアの DispChg（F6）で行います。

※VDCP プロトコル使用時

リストの表示件数 ： 9999件

【マテリアルリスト 素材リスト簡易モニタ画面】

【マテリアルリスト 素材リスト画面】



9.5.1 Material 操作概要

素材表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

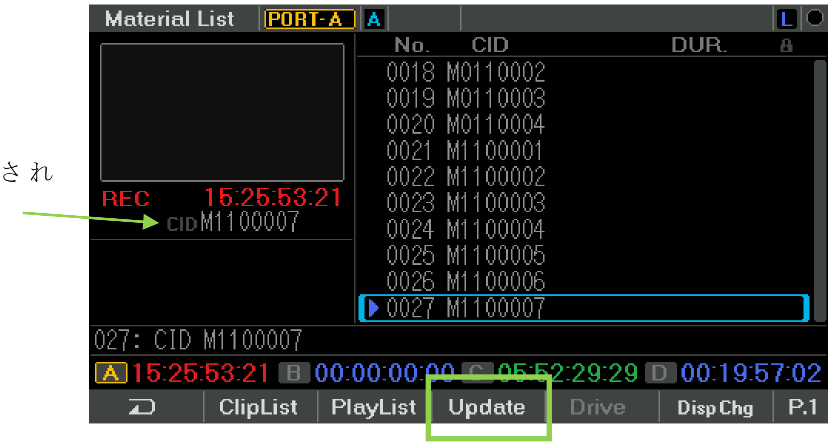
P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1		ClipList	PlatList	Update	Drive	DispChg
P.1 SFT						Monitor
P.2		Load	Protect	Info		DispChg
P.2 SFT		Unload			Delete	
P.3						
P.3 SFT					All Delete	
P.4	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3			
P4.SFT	Preroll-4	Preroll-5	Preroll-6			

【クリップリスト】　クリップリスト画面に移行します。
【プレイリスト】　プレイリスト画面に移行します。
【Update】　機器の素材一覧を取得します。
【Drive 】　未対応
【DispChg】　表示画面を切り替えます。
【Monitor】　モニタ画面に切り替えます。
【Load】　選択したファイルを Load します。
【UnLoad】　未対応　※選択したファイルを UnLoad します。
【Protect】　未対応　※選択したファイルを Protect します。
【Info】　未対応　※選択したファイルj情報を表示 します。
【Delete】　素材を削除します。
【AllDelete】　全ての素材を削除します。（非対応）
【Preroll−*】　Preroll 値を SET します。

9.5.2 素材の呼び出し

素材エリアでは対象機器のファイル情報の一覧の取得が可能です。

LOAD された素材



Update ボタンを押すと、ファイルの一覧を取得します。

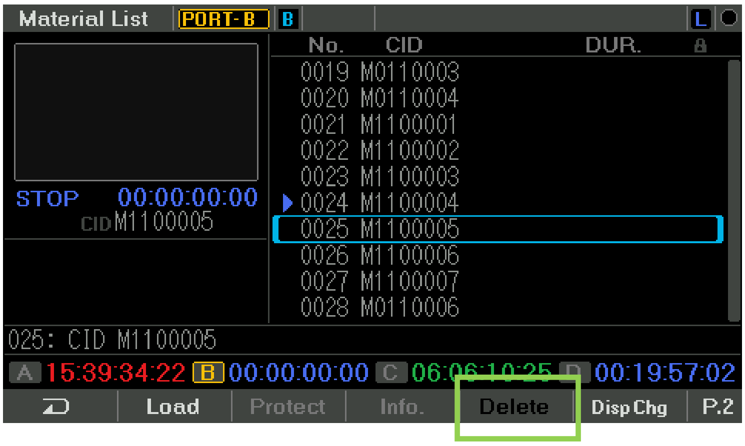
上下▲又は **JOG ダイアル** (**SFT+上下▲**)でファイルを選択し、CUE UP を行って下さい。

CUE UP は **左矢印キー** 又は P2 ページの **Load(F2)**ボタンで可能です。

※素材リスト画面の青色三角マークは、ロード中ファイルです。

9.5.3 素材の削除

素材エリアでは対象機器のファイルの削除が可能です。



Material List 内の **P2** の **Delete** を押すと、削除確認メッセージが表示され
削除を行う事が可能です。

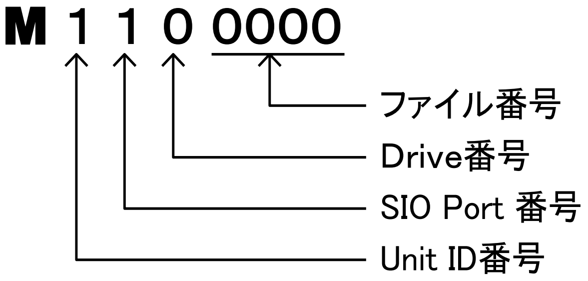
9.5.4 収録時のファイル名称について

録画時にファイル名称を発行して収録を行います。

ファイル名は、”M1100000”の様なファイル名が作成されます。

REC、STOPを繰り返すたびに、ファイルを作成しますので、ファイル名は”M1100001””M1100002”のように下四桁が変わっていきます。0000～9999までファイル番号が作成されます。9999を過ぎると、ファイル名は、0000から作成されます。

ファイル名の意味合いを下記に説明します。



9.6 カップリング機能

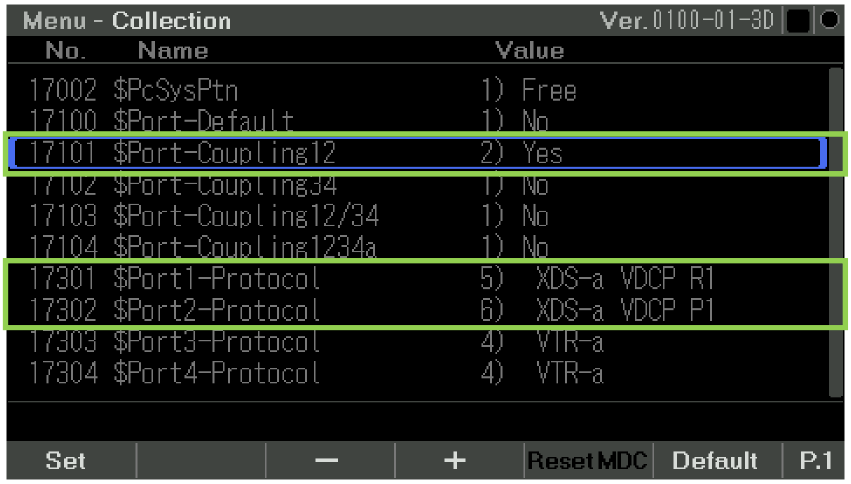
カップリング機能とは、メモリーレコーダ／ディスクレコーダ等で収録を行いながら再生する事が可能な機器に対して、行う制御です。

収録系制御と再生系の制御の2ポートを同時に制御する事により、2ポートを意識する事無くご使用頂けます。

※ 対象機器との接続は2ポート使用します。（REC ポート／PLAY ポート）

9.6.1 カップリング機能の設定

SIOの動作画面及びプロトコルの選択は Collection 画面で行います。

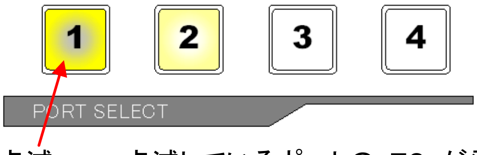


使用ポートと対象機器を選択し、－ ＋ で選択を行い Set で切替えます。

Set後、Shft + ResetMDC ボタンで再起動がかかり、設定が完了します。

9.6.2 カップリング機能の操作

カップリング設定を行うと、ポート選択ボタンが 2 か所点灯します。



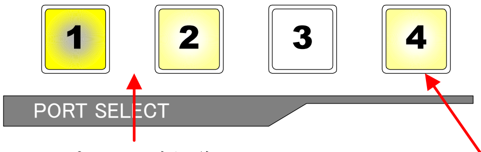
点滅 ・・・ 点滅しているポートの TC が登録されます。

収録画像の TC で CUE 点を登録するか、再生ポートの TC で CUE 点を登録するか選択が可能です。

9.6.3　カップリング機能　＋　VTR 制御の操作

カップリング設定を行うと、ポート選択ボタンが 2 か所点灯します。

同時に VTR の制御を行う事も可能です。



カップリング制御　　　　　　**SFT+PORT SELECT** ボタンで選択が可能

通常のカップリング機能と同様に、収録画像の TC で CUE 点を登録するか、再生ポートの TC で CUE 点を登録するか選択が可能です。

同時に PORT4で収録した TC も独立して CUE 点を登録する事も可能です。

9.7 パラ制御機能

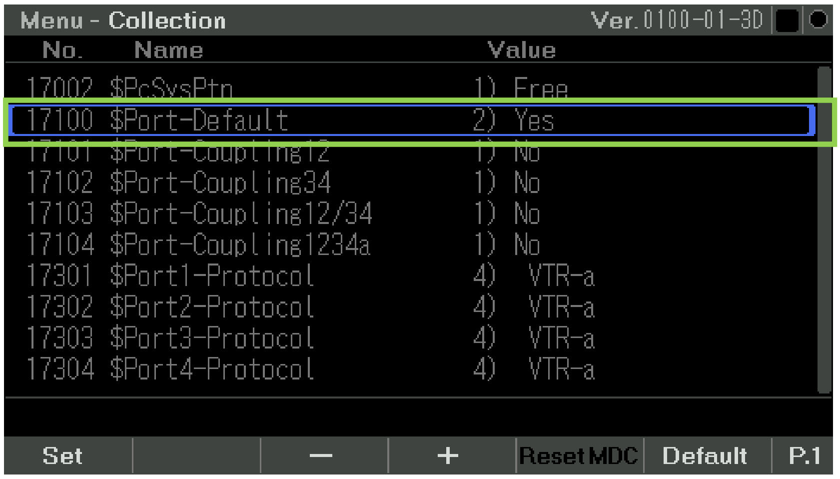
パラ制御機能とは、ポート選択ボタンで選択されたポートを同時に制御します。

※ Refに同期して同時にコマンドを出す機能で調相制御は行っていません。

※ 対象機器により、JOG／SHTL 制御時は TC がずれる可能性があります。

9.7.1 パラ制御機能の設定

SIOの動作画面及びプロトコルの選択は Collection 画面で行います。

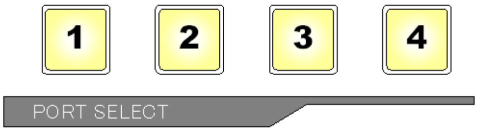


使用ポートを **Default** にするとパラ制御が可能です。

対象機器を選択し、－ ＋ で選択を行い Set で切替えます。

Set後、Shft + ResetMDC ボタンで再起動がかかり、設定が完了します。

9.7.2 パラ制御機能の操作



1～4の SW 選択で切替ります。

複数ポートを同時制御する時は、**SFT+制御ポート**で選択可能です。

9.7.3 パラ制御の CUE UP 方法

複数台同時再生時、クリップの登録を行うと、各ポート　毎にクリップ点を登録します。

PORT　SELECT ボタンが点滅しているポートのクリップリストが表示します。

又 CUE 点の登録エリアを変更する事により、PORT１で登録した CUE 点を PORT２で CUE UP する事も可能です。

設定例

【CUE 点の登録エリア】（工場出荷）

＜関連メニュー＞ CUE 点の登録エリア指定

27611	Port1−ClipListBank	1）Bank−A
27612	Port2−ClipListBank	2）Bank−B
27613	Port3−ClipListBank	3）Bank−C
27614	Port4−ClipListBank	4）Bank−D

【CUE 点の登録エリア】（Port1 で登録した CUE 点で PORT2.3.4 を CUE　UP）

＜関連メニュー＞ CUE 点の登録エリア指定

27611	Port1−ClipListBank	1）Bank−A
27612	Port2−ClipListBank	1）Bank−A
27613	Port3−ClipListBank	1）Bank−A
27614	Port4−ClipListBank	1）Bank−A

9.8 連続再生(PLAY LIST)機能

クリップリストで作成したクリップをプレイリストに並べる事により連続再生する機能です。

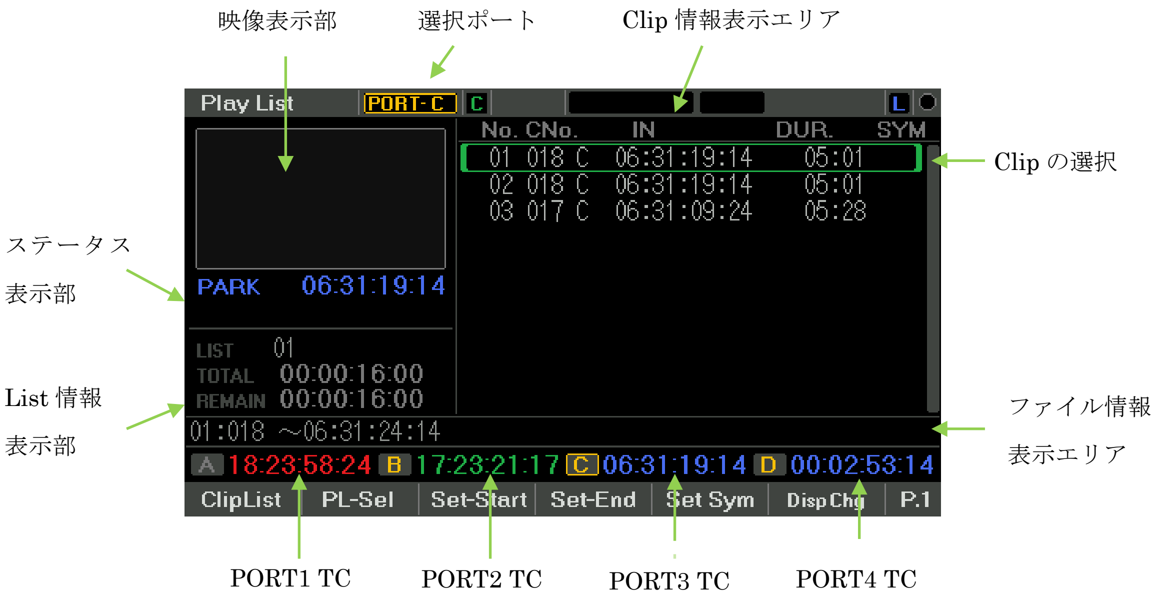
※VDCP プロトコル使用時

登録可能数　300件

9.8.1 プレイリスト画面の説明

プレイリストは下記の画面より選択可能です。

【プレイリスト 簡易モニタ画面】



【プレイリスト 詳細画面】

【クリップ&プレイリスト クリップ操作画面】

【クリップ&プレイリスト プレイリスト操作画面】

【プレイリスト Sel 画面】

プレイリストの保存を行う画面です。

9.8.2　プレイリストの操作概要

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	クリップリスト	PL-Sel	Set-Start	Set-End	SetSym	DispChg
P.1 Shift	Material-L		ON/OFF	Loop		Monitor
P.2	クリップリスト		Copy	Paste		DispChg
P.2 Shift	Material-L				Delete	
P.3						
P.3 Shift					All Delete	
P4	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P4 Shift	Preroll-4	Preroll-5	Preroll-6	Postroll-4	Postroll-5	Postroll-6

【クリップリスト】クリップリスト画面に移行します。

【Material−L】　Material 画面に移行します。

【PL−Sel】　プレイリスト Sel 画面に移行します。

【Set−Start】　プレイリストの Start 点を指定します。

【Set−End】　プレイリストの END 点を指定します。

【SetSym】　SYM シンボル登録が可能です。

【DispChg】　表示画面を切り替えます。

【ON/OFF】　連続再生するクリップの ON/OFF です。

【Loop】　Loop 再生を指定します。

【Copy】　プレイリストのコピーを行います。

【Paste】　プレイリストのペーストを行います。

【Delete】　プレイリスト内クリップの削除を行います。

【All Delete】　プレイリスト内全てのクリップの削除を行います。

【Preroll−*】　Preroll 値を SET します。

【Postroll−*】　Postroll 値を SET します。

9.8.3　連続再生操作

連続再生制御機能とはIN点とOUT点を登録したクリップを連続で再生を行う機能です。

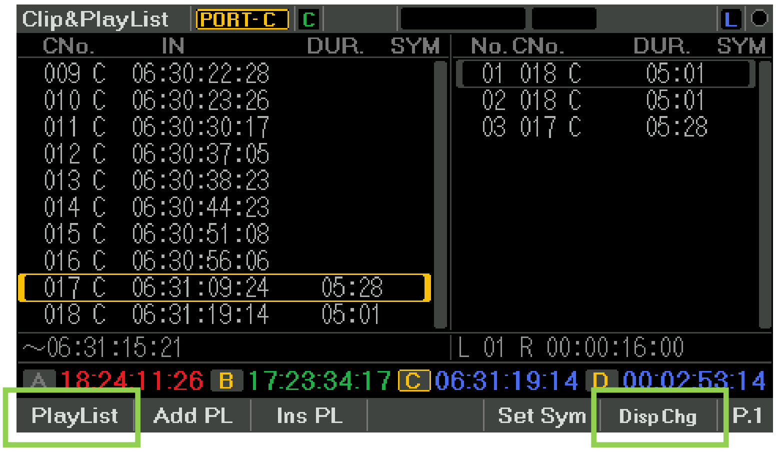
※ 本機能は、VDCPプロトコル設定時のみ使用可能です。

※ 本機能は対象機器によりクリップの最小 Duration を変更する必要があります。

Sioメニュー（Sio1,2,3,4）		
31600	Vdcp:ClipMinDur	VDCP プロトコルでクリップの最小サイズ指定 Sio1 60 frame/Sio2 90frame/Sio3 60frame/Sio4 60frame

クリップリストとプレイリストの切替

クリップリストとプレイリストの切替えは **PlayList(F1)**と **DispChg(F6)**で切替える事が可能です。

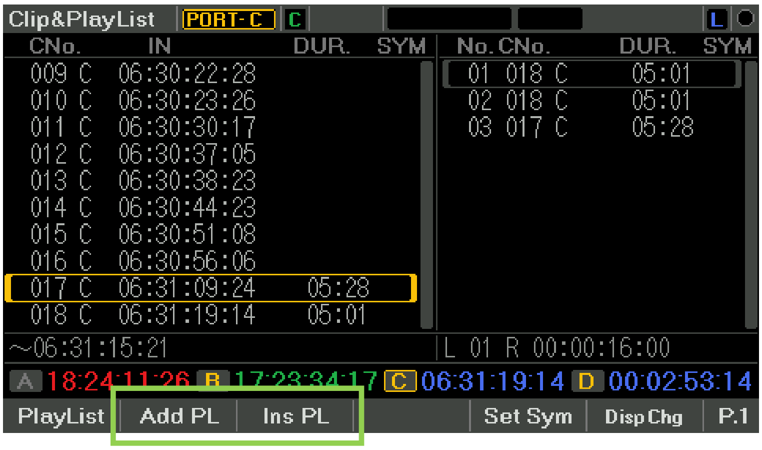


クリップの登録

クリップの登録は「クリップリスト画面」より **AddPL(F2)**又は **InsPL(F3)**で行うか、

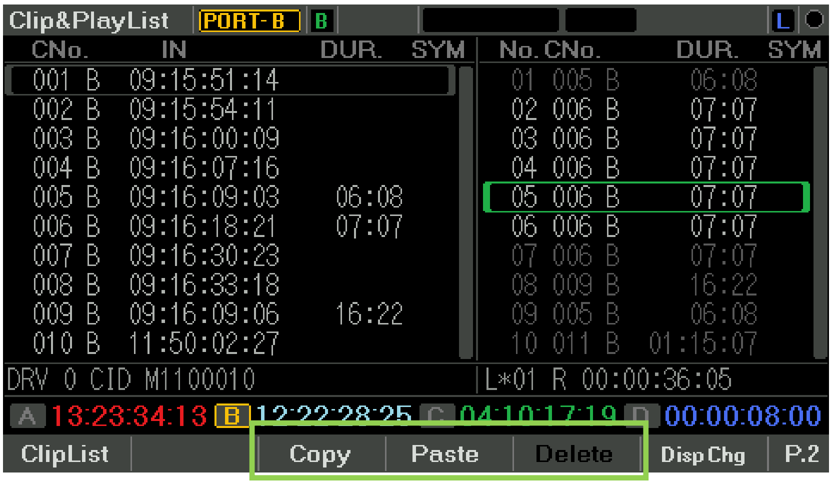
「クリップ&プレイリスト画面」より **AddPL(F2)**又は **InsPL(F3)**で行います。

※登録可能なクリップの最小 Dulation は3秒です。（デバイスに依存します）



プレイリストに登録したクリップの編集

プレイリストに登録したクリップはコピペ及び削除が可能です。



選択したクリップを移動する時は、**Delete(SFT+F5)**を行い。

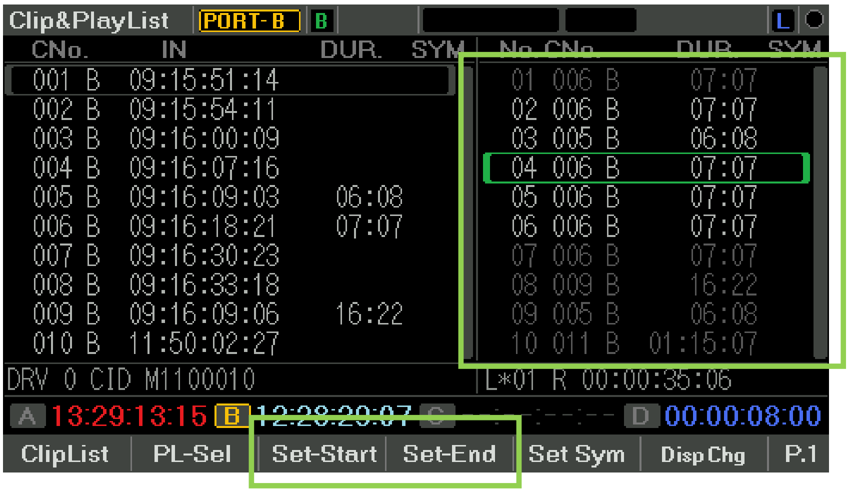
移動先に **Paste** して下さい。

登録したクリップはトリミング可能です。

クリップを選択し、**左右▲**で CUE UP を行い JOG ダイアル操作で画像を選び **SFT+IN** / **SFT+OUT** で再登録可能です。

プレイリストの再生範囲の指定と Loop 設定

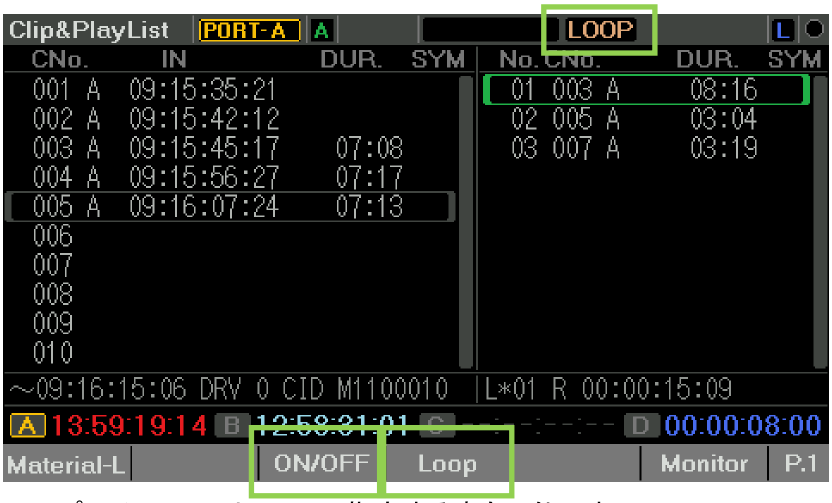
プレイリスト内で再生範囲を指定して連続再生を行う事が可能です。



プレイリストで白い部分が連続再生可能です。

Set-Start(F3) と **Set-End(F4)** で指定を行う事が可能です。

P1 表示の時、**SFT ボタン**を押す事で個別に **ON/OFF** する事も可能です。



又、プレイリストでは、LOOP 指定する事も可能です。

プレイリストの再生

連続再生を開始するには、開始ファイルを選択して CUE UP(左▲)します。

プレイリスト画面の緑色三角マークは、連続再生可のスタンバイ状態と、実行中クリップを示すものです。この三角マーク表示中は、”F-PLAY” ボタンも点滅(スタンバイ状態の意)します。

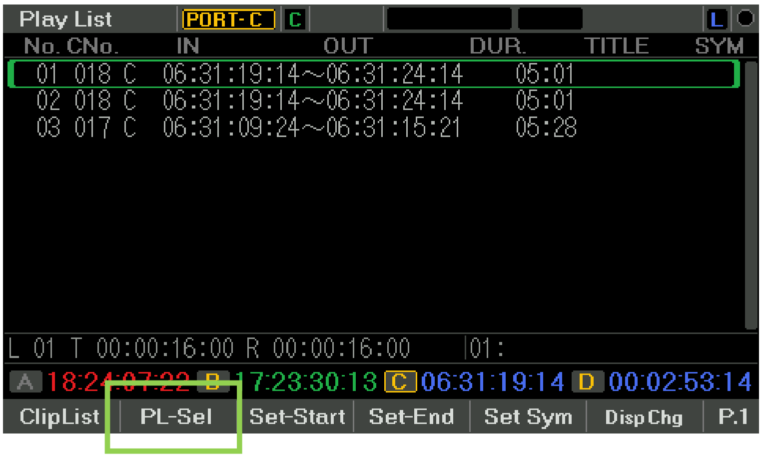
任意の有効クリップ位置で左矢印キーで(Preroll を含めた)Cueup をさせると
スタンバイ状態になります。

CUE UP が完了すると、クリップの左側に黄色の▲が表示されます。

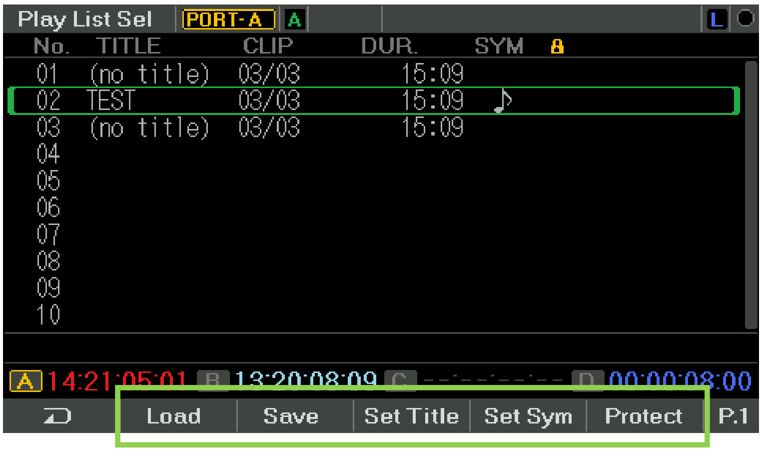
F-PLAY ボタンで連続再生を開始します。

9.8.4　プレイリストの登録

作成したプレイリストは登録しておく事が可能です。



プレイリスト画面より PL−Sel を選択すると「プレイリスト Sel」画面に入ります。



プレイリストを登録したい場所にカーソルを移動して

SAVE を行うとプレイリストの登録が可能です。

登録した List には、タイトルやシンボルを付ける事が可能です。

又、必要に応じて Protect を行う事が可能です。

9.9 VTR 簡易編集機能

編集モードを使用すると 2 台の VTR を使用して編集を行うことが可能です。

※編集機能使用時は必ず REF を入力して下さい。

簡易編集は、SimpleEdit 画面で行います。

【ファンクション表示エリア（機能概要）】

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	Preview	AutoEdit	Review			DispChg
P.1 +Shift		AutoEdit				Monitor
P.2	Asm	Video	DA1	DA2	DA3	DA4
P.2 Shift						
P.3	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P.3 +Shift						
P.4	TC	CTL	CTL-Reset			
P.4 +Shift	TC	CTL				

【Preview】　編集のプレビュー動作を行います。

【AutoEdit】　SFT+F1 で編集を開始します。

【Review】　編集結果を確認します。

【Asm/Video/DA1/DA2/DA3/DA4】　編集モードに応じて選択します。

Asm　:アッセンブルモードで動作します。

Video／DA1／DA2／DA3／DA4

【Preroll−*/Postroll−*】

Preroll−1（ 3 秒） / Preroll−2（ 5 秒） / Preroll−3（7 秒）

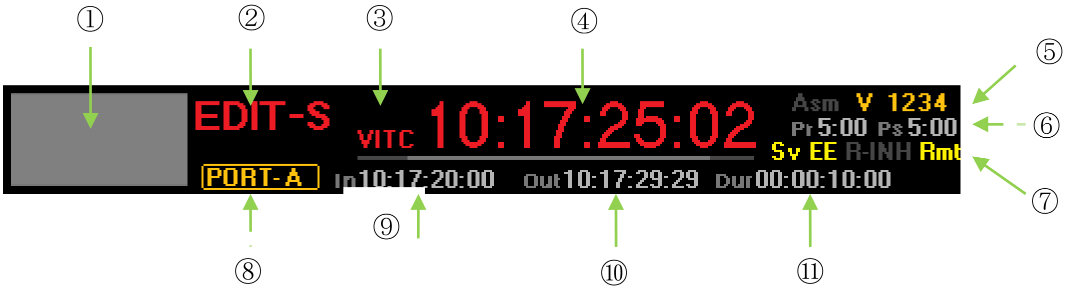
Postroll−1（ 3 秒） / Postroll−2（ 5 秒） / Postroll−3(7 秒)

※Preroll 時間はメニューで設定可能です。（編集を行う時は3秒以上確保して下さい）

【TC/CTL】　編集タイムコードを選択します。

【CTL−Reset】　編集タイムコードが CTL の時、リセットします。

■ステータス表示エリアの説明



① 簡易画像表示

※IN1～IN4 にアナログビデオ信号を入力すると表示されます。

② VTR ステータス表示部

③ VTR TC 表示部

④ タイムコード表示部

※VTRの状態により色が変わります。

STOP（青） PLAY(緑) REC(赤) SHUTTLE/VAR(水色)

⑤ 編集モードの選択

Asm ： アッセンブル選択時“黄”になります。

V/DA1/DA2/DA3/DA4 ： インサート選択時“黄”になります。

⑥ プリロール・ポルトロール時間の表示

Pr ： Preroll 時間を表示します。

Ps ： Postroll 時間を表示します。

⑦ VTR の状態表示

Sv ： VTRがサーボロック状態の時、“黄”になります。

EE ： VTRがEE状態の時“黄”になります。

R-Inhi ：テープが書き込み禁止状態の時、“赤”になります。(優先)

本装置で書き込み禁止状態の時“青”になります。

Rmt ：VTR がリモート制御可能な時”黄“になります。

⑧ ポート選択表示

ポート選択ボタンに連動して動作します。動作可能なポートが“黄”表示します。

⑨ IN 点タイムコード表示

⑩ OUT 点タイムコード表示

⑪ デュレーション表示

■ 編集のご注意

1）アッセンブル編集の注意

・アッセンブル編集は CTL で行って下さい。

・最初の編集を開始する点に、あらかじめ CTL 信号をプリロール時間より長く記録しておいて下さい。

・アッセンブル編集をすると、OUT 点で信号が不連続になり画像が乱れる事があります。

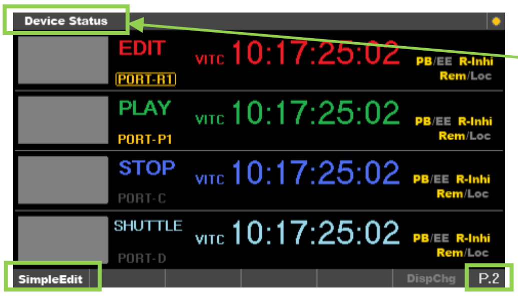
※TC でアッセンブル編集を行ないたい場合は予め連続した TC が記録してある必要があります。VTR の TC 設定を INT／REC RUN／REGEN に設定して下さい。

2）インサート編集の注意

・インサート編集する部分には、CTL 信号又は TC 信号が連続して記録されていないと編集が実行出来ません。

9.9.1 編集操作

VTR2台での編集操作手順例を記載します。



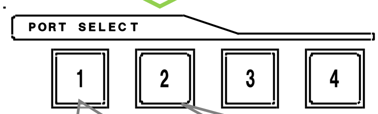
Dvice Status 画面のファンクション表示エリアで P2 を選択して SimpleEdit モードを選択します。

Recoder ポートを選択し、SimpleEdit 画面のファンクション表示エリア P2 で、編集モード選択します。

同様にファンクション表示エリア P3 で Preroll/Postroll の設定を行います。
※設定は Recoder ポート・Player ポート同じ設定にして下さい。

Port Select キー 1 で RECORDER 側の IN 点と OUT 点を決めます。
※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。

Port Select キー２で PLAYER 側の IN 点と OUT 点を決めます。
※左右キーで IN 点 OUT 点の確認が行えます。

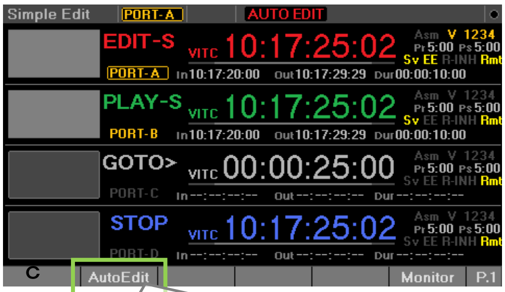


1)点滅は Recoder を意味します。

2)SFT を押しながら選択します。

Port1 を選択し、次に SFT+Port2 を選択し、Recoder と Player 2 個を点灯させます。

Preview を選択し編集のリハーサルを行います。
※同期制御は自動で行います。が、VTR の状態によりリトライ動作する事があります。



SFT を押しながら選択します。

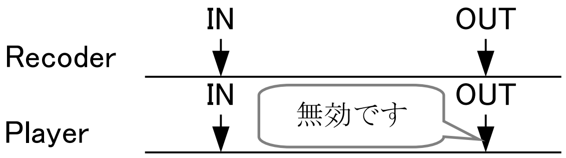
AutoEdit を選択し編集を行います。

Review を選択し編集の確認を行います。

9.9.2　編集TCについて

簡易編集では、収録側TCと再生側TCは下記の動作となります。

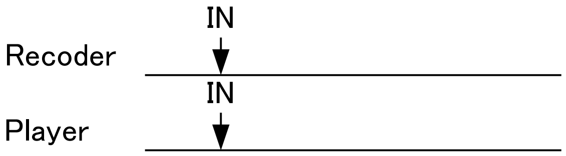
1）収録側IN／OUT 点と再生側 IN/OUT 点が同じ時



【動作詳細】

Recoder の IN/OUT 点を基準に動作します。

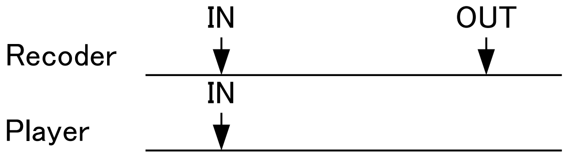
2）収録側IN点と再生側 IN 点が設定されている時



【動作詳細】

オープンエンドで記録します。

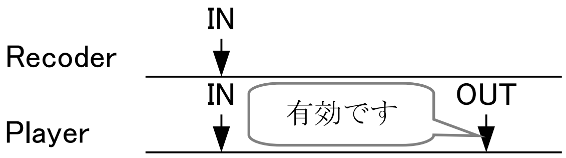
3）収録側IN/OUT 点と再生側 IN 点が設定されている時



【動作詳細】

Recoder 側の OUT 点を基準にして編集が行われます。

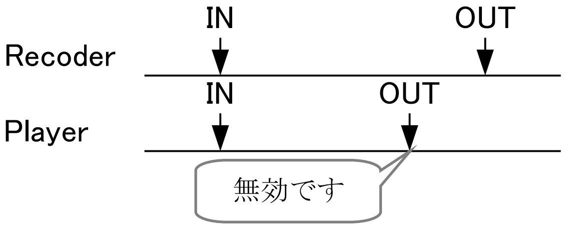
4）収録側IN点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時



【動作詳細】

Player 側 OUT 点を使用して編集が行われます。

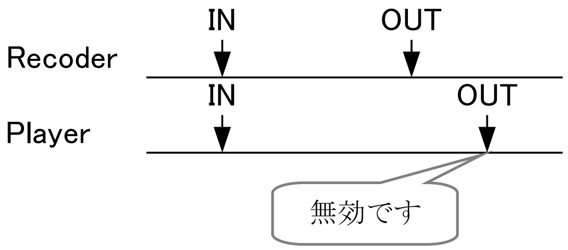
5）収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時(収録側が長い)



【動作詳細】

Recoder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

6）収録側IN/OUT 点と再生側 IN/OUT 点が設定されている時(再生側が長い)



【動作詳細】

Recoder 側 OUT 点を基準に動作します。Player 側 OUT 点は使用しませんので注意して下さい。

9.9.3　編集システム設定

簡易編集を行うには、対象機器毎にパラメータの変更が必要です。

1)　編集パラメータの設定方法

調整パラメータは MENU の SIO 内で設定を行います。

30E43　V:EditIn−Timing（Def　5frame）

→編集 IN 点の調整を行います。

30E44　V:EditOut−Timing（Def 4frame）

→編集 OUT 点の調整を行います。

30E45　V:EditIn−CtlTiming(Def 0)及び V:EditOut−CtlTiming(Def 0)

→TC 編集と CTL 編集が混在する時に設定を行います。

※Port１～４切替えて設定を行います。

【Edit　タイミングの調整手順】

1）TC 編集を行います。

2）編集結果を確認し、IN 点が進んでいる時は V:EditIn−Timing の設定値を小さくします。

3）編集結果を確認し、OUT 点が進んでいる時は V:EditOff−Timing の設定値を小さくします。

4）上記を数回繰り返し、編集結果にずれが無い事を確認して下さい。

5）CTL 編集を行います。

6）編集結果を確認して、ずれが発生した場合は2)と3)と同様 V:EditInt−CtlTiming と V:EditOff−CtlTiming を設定して下さい。

※デフォルト値 0 は TC での設定値が反映されます。0 以外の値を入れると CTL は独立したタイミング値で設定されます。

【参考パラメータ】

■HDW−M2000　のパラメータ値（Recoder/Player 共通）

30E43	V:EditIn−Timing（Def　5frame）	=	6frame
30E44	V:EditOut−Timing（Def 5frame）	=	5frame
30E45	V:EditIn−CtlTiming(Def 0frame)	=	0frame
30E46	V:EditOut−CtlTiming(Def 0frame)	=	0frame

■DSR−80　のパラメータ値（Recoder/Player 共通）

30E43	V:EditIn−Timing（Def　5frame）	=	3frame
30E44	V:EditOut−Timing（Def 5frame）	=	2frame
30E45	V:EditIn−CtlTiming(Def 0frame)	=	0frame
30E46	V:EditOut−CtlTiming(Def 0frame)	=	0frame

2） DF/NDF の設定方法

DF/NDF の設定は MENU の SIO 内で設定を行います。

30203　　　　FrameFormat　　　1)NTSC-DF(Def)　2)NTSC-NDF　3)PAL

デフォルトでは DF の設定になっています。

システムに合わせてご使用下さい。

※ポート毎に設定が可能ですが混在した編集は行えません。

9.10 キーアサイン変更機能

白キーに下記の機能を割り当てる事が可能です。

Console メニュー　白ボタンの設定		
27801	$MarkBlankKeyAsn	MARK エリアの Blank　キーを変更します。 Blank　:何もしません。 Search　:CUE 点を Search します。 Login　:　カップリング中に REC 側の CUE 点を登録します。
27811	$ContBlankKeyAsn1	CONTROL エリアの Blank キーを変更します。 Blank　:何もしません。 Standby　:　STNDBY ON します。 Rew　:　REW 動作します。 F.FWD　:FF 動作します。 Var1:VAR1で設定した%で再生します。 Var2:VAR2 で設定した%で再生します。 Var3:VAR3 で設定した%で再生します。 Top:XDS 拡張コマンド TOP 動作します。 End:XDS 拡張コマンド END 動作します。 Pre:XDS 拡張コマンド PREV 動作します。 Next:XDS 拡張コマンド NEXT 動作します。
27812	$ContBlankKeyAsn2	同上
27813	$ContBlankKeyAsn3	同上 MDC-70 のみ

9.11 GPI 機能

GPI を使用するには、下記の設定を行って下さい。

1）MENU 設定 __SIO

この設定はボタンの操作に関係無くVTR コマンド送信が可能です。

2）MENU 設定 __GPI

この設定は装置のボタンと連動しています。

【詳細設定】

Bit 列を1にすると有効になります。

※Bit 列は 00000000 ＝ IN7 IN6 IN5 IN4 IN3 IN2 IN1 IN0 となります。

SIO 設定は使用するポート毎に切替えて行って下さい。

【送信コマンド 機能一覧】（GPI IN）

設定は使用するポート毎に切替えて設定して下さい。

※VDCP プロトコルでは使用出来ません。

Sio メニュー 送信コマンド		
33100	Gpi:Eject-C	EJECT します。
33101	Gpi:StbyOff-C	STANDBY OFFします。
33102	Gpi:StbyOn-C	STANDBY ONします。
33103	Gpi:Stop-C	STOP します。
33104	Gpi:Still-C	STILL します。
33105	Gpi:Rec-C	REC します。
33106	Gpi:Play-C	PLAY します。
33107	Gpi:FF-C	F.FWD します。
33108	Gpi:Rew-C	REWIND します。

GPI 共通関連の設定メニューです。

※プロトコルには依存しません。（パネル操作と同様です）

Gpi メニュー 機能		
項目番号	項目名	内容
48600	GpiKey-Up	上△ボタンを割り当てる事が可能です 00000000 （対象 Bit 桁を1にすると有効）（以下同）
48601	GpiKey-Dw	下△ボタンを割り当てる事が可能です
48602	GpiKey-Lf	左△ボタンを割り当てる事が可能です
48602	GpiKey-Rt	右下△ボタンを割り当てる事が可能です
48604	Gpi:Key-Play&Dw	GPI が ON すると再生します。 GPIがOFFすると下△ボタン（NEXT）に移動します。 ※MENU（27D03）を有効にするとNEXT 時に CUE UP します。

【ステータス表示　機能一覧】（GPI　OUT）

VTR プロトコルのステータスを定時センスして、ステータス情報を GPI に出力します。

設定は使用するポート毎に切替えて設定して下さい。

Sio メニュー　ステータス表示		
33200	Gpi:Rem-S	REMOTE 時 ON します。
33201	Gpi:Tape-S	テープが装着されている時 ON します。
33202	Gpi:StbyOn-S	STNDBY ON 時 ON します。
33203	Gpi:Stop-S	STOP 時 ON します。
33204	Gpi:Still-S	STILL 時 ON します。
33205	Gpi:Rec-S	REC 時 ON します。
33206	Gpi:Play-S	PLAY 時 ON します。
33207	Gpi:Fwd-S	FWD(PLAY/REC)時 ON します。
33208	Gpi:FF-S	F.FWD 時 ON します。
33209	Gpi:Rew-S	REW 時 ON します。
3320A	Gpi:Dir-S	逆走行時 ON します。
3320B	Gpi:Jog-S	Jog 時 ON します。
3320C	Gpi:Shuttle-S	Shuttle 時 ON します。
3320D	Gpi:Var-S	Var 時 ON します。
3320E	Gpi:CueBusy-S	Cueup 中 ON します。
3320F	Gpi:CueCmpl-S	Cueup 完了で ON します。
33210	Gpi:SpdMovFw-S	可変速順走行中に ON します。（※1）
33211	Gpi:SpdMovRv-S	可変速逆走行中に ON します。（※1）

※　Bit 列の設定は同じビット内で機能が重複しない様に設定を行って下さい。

※　デバイス側が対応していない場合は、ON にならないステータスもあります。

※　1TC 監視による疑似ステータスです。

※　VDCP プロトコルでは使用出来ません。

9.12 MENU 操作

メニューでは下記の事を行う事が可能です。

Collection 機能　:Console/Sio を簡単に設定する機能です。

Console　:SW の動作の変更を行う事が可能です。

Sio　:ポート毎の設定が可能です。

Gpi　:GPI の設定が可能です。

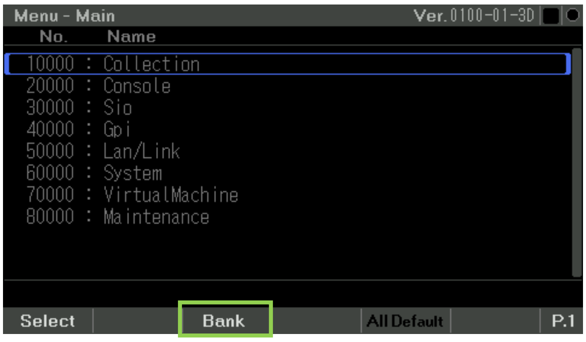
System　:Ststem 設定が可能です。

設定は上下▲と＋(F4)－(F3)キーで選択を行い Set(F1)キーで登録を行います。

9.13 MENU のバンク設定

Console で操作方法等の設定を行った内容はバンクに保存、読み出しをすることが可能です。　最大保存数　99

又、設定情報を USB メモリに保存しておく事も可能です。



9.14 バージョンアップ機能

ソフトウェアをホームページよりダウンロードして アップデートする事が可能です。

http://www.musashi-kk.co.jp/

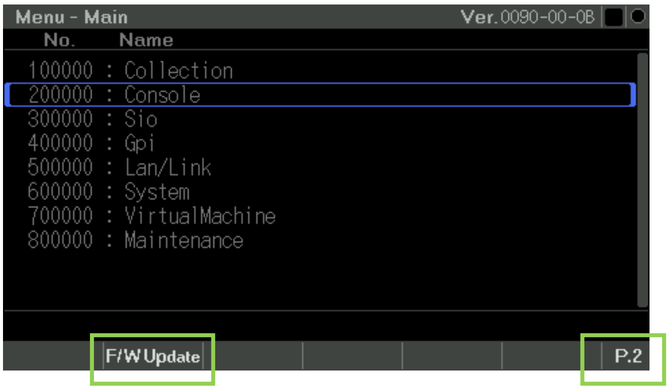
アップデートの準備

1) ダウンロードしたファイルを USB メモリに保存して下さい。

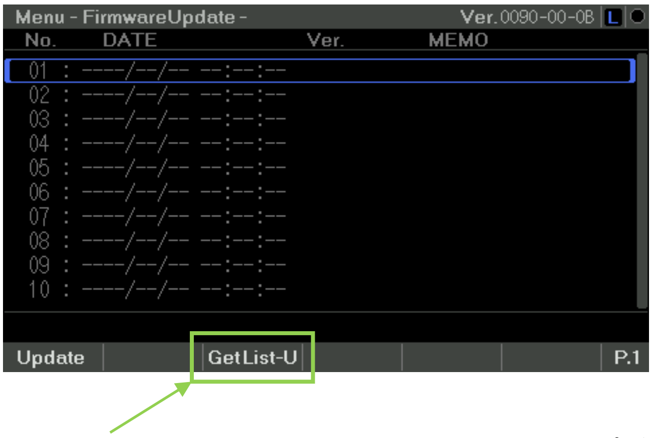
2) MDC-70T 背面の USB コネクタに接続します。

アップデート操作

1) MENU 画面より P2 内の F/WUpdate(F2)を選択します。

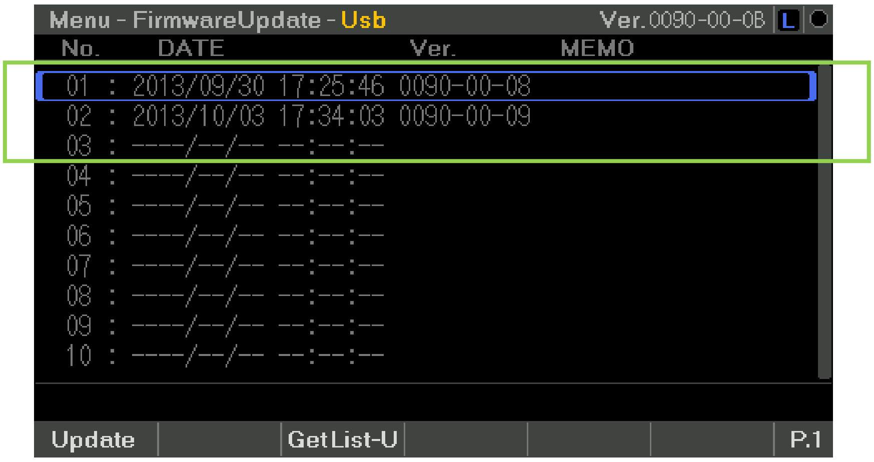


2)内蔵メモリの保存領域が表示されます。



3)GetList-U を選択すると、USB メモリの有無及びアップデート
ファイルの確認を行います。

4）アップデート可能なファイルが確認されると
下記の様に Ver 番号が表示されます。



上下▲でファイルを選択して **Update（F1）キー**を押します。
確認メッセージが表示されるので **Yes** を選択して下さい。

ソフトのアップデートが開始されます。
“Program update completion.”メッセージが出たらアップデート終了です。
メッセージに従い Yes を選択して下さい。選択後は自動でリブートします。

アップデート作業の注意事項！

1）Program update には**10分程度**時間がかかります。

2） Program update 中は**電源を切らないで下さい。**
※アップデート途中で電源を切断すると起動出来なくなる可能性があります。

3） Program update 後は必要に応じ、再設定を行う可能性があります。
※アップデート情報を参照して下さい。

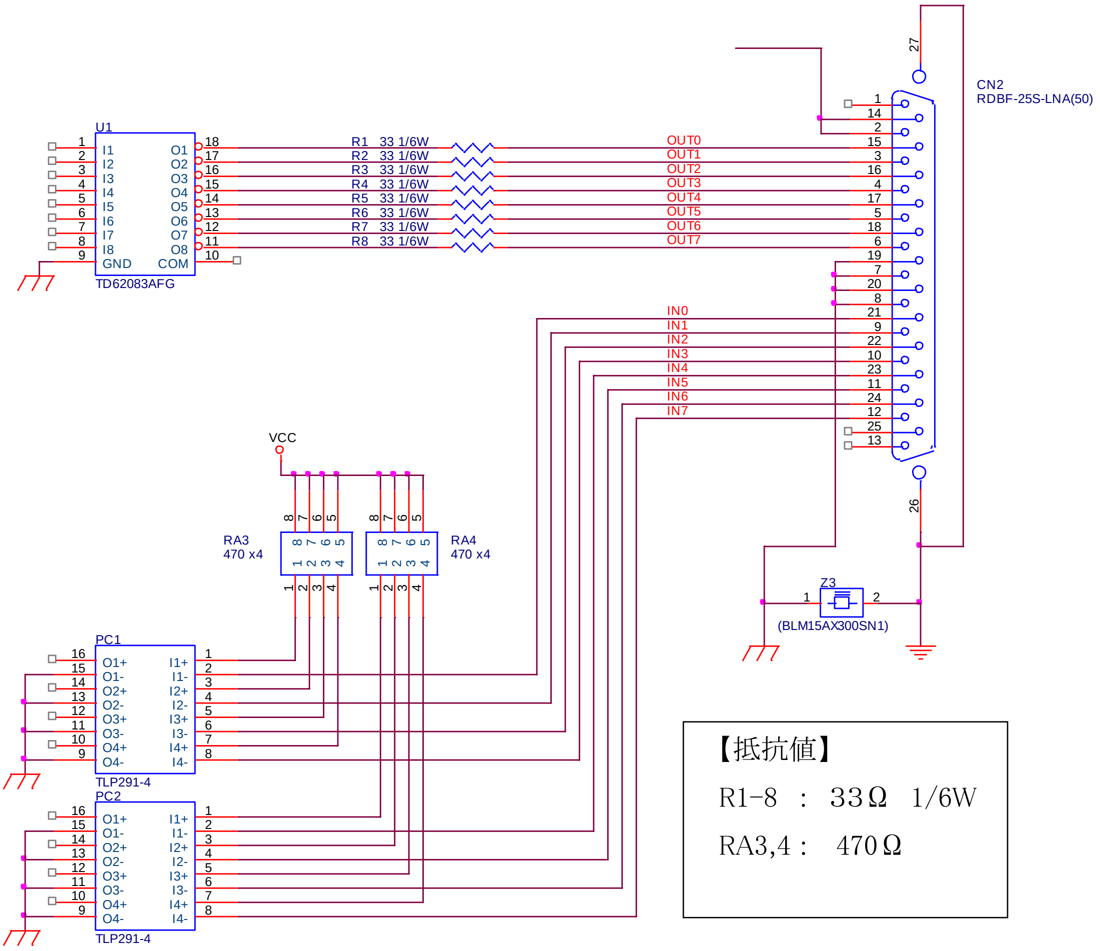
10.コネクタ仕様

【コネクタ仕様】

項目	仕様
RS-422（Dsub9Pin）	4系統
GPI（Dsub25Pin）	入出力8系統の動作を設定する事が可能
LAN	EtherNet 10/100base 2 系統 ストレート・クロスケーブル自動判別（Auto MDIX）
LINK	IEEE1394
REF	BNC コネクタ　同期信号入力です。 NTSC/PAL 信号の 2 値 SYNC/3 値 SYNC に対応しています。

【GPI コネクタ電気的仕様】

GPI ドライバー部の回路図です。



【抵抗値】

R1-8 ： 33Ω　1/6W

RA3,4 ：　470Ω

下記設定可能箇所は、メニューで機能変更が可能です。

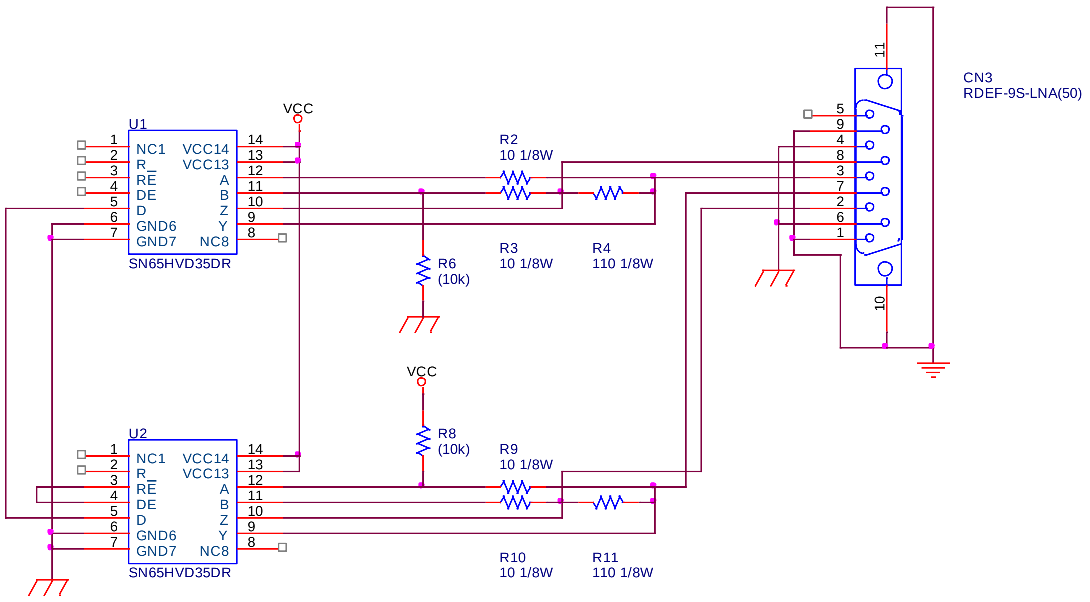
D-SUB 25PIN メス座(ミリネジ)

GIP IF (Dsub 25pin メス座)		
ピン番号	属性	対応機能
1	NC	
2	NC	
3	OUT1	設定可能
4	OUT3	設定可能
5	OUT5	設定可能
6	OUT7	設定可能
7	GND	
8	GND	
9	IN1	設定可能
10	IN3	設定可能
11	IN5	設定可能
12	IN7	設定可能
13	NC	
14	NC	
15	OUT0	設定可能
16	OUT2	設定可能
17	OUT4	設定可能
18	OUT6	設定可能
19	GND	
20	GND	
21	IN0	設定可能
22	IN2	設定可能
23	IN4	設定可能
24	IN6	設定可能
25	NC	

【RS422 コネクタ電気的仕様】

RS422 ドライバー部の回路図です。

※回路上は CONTROLLER と DEVICE 対応ですが、CONTROLLER のみで使用可能です。



D-SUB 9PIN メス座(ミリネジ)

	名 称	動 作
1	FG	フレーム GND
2	REM RX－	RS－422信号レベル(平衡－)
3	REM TX＋	RS－422信号レベル(平衡＋)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	REM RX＋	RS－422信号レベル(平衡＋)
8	REM TX－	RS－422信号レベル(平衡－)
9	FG	フレーム GND

11.一般仕様

【一般仕様】

項目	仕様
寸法	180(w) x 260(D) x 90 奥～約 44 手前(H)
質量	約 2.5Kg
消費電力	約 12W
電源	ACアダプタ使用 100-240V 1.1A 50-60Hz
動作温・湿度	0℃～40℃ 10%～85%RH 但し結露なきこと
保存温・湿度	-10℃～60℃ 10%～95%RH 但し結露なきこと
Rohs対応	Rohs 対応部品を使用して製造しています

12.通信仕様

【通信信号】

・EIA RS-422A 準拠

・全二重通信チャンネル

・回線速度　:　38,400 bps

・ビット構成

START BIT + 8 DATA BITS + ODD PARITY BIT + STOP BIT

START BIT	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	ODD PARITY	STOP BIT

・コマンド ブロック フォーマット

通信は下記のフォーマットで行っています。

CMD-1	DATA COUNT	CMD-2	DATA-1	DATA-2		DATA-15	CHECK SUM
MDS　LSD 1 BYTE		1 BYTE	0～15 BYTE				1 BYTE

【対応プロトコル】

・SONY VTR プロトコル　:通常のＶＴＲを制御するプロトコルです。

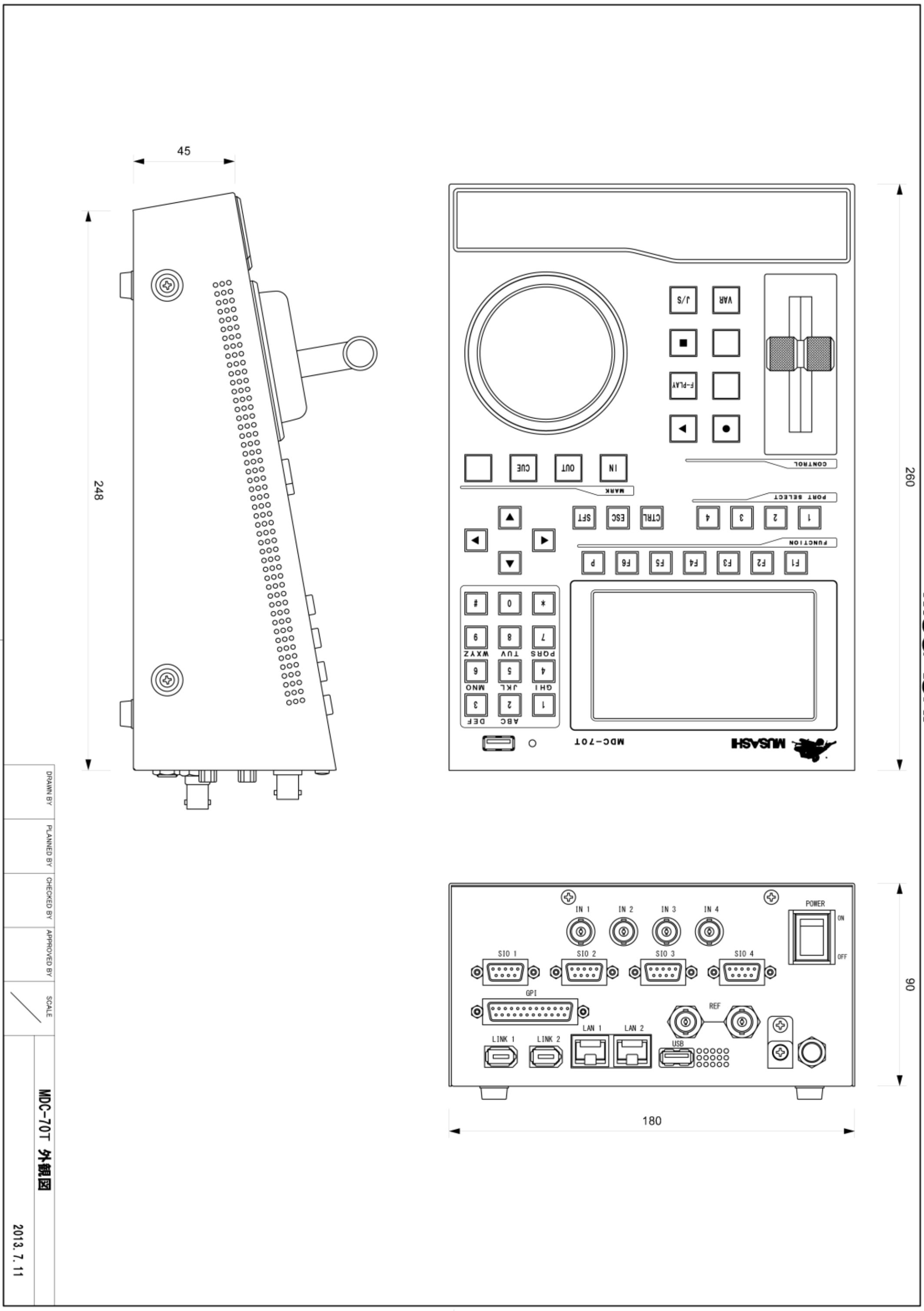
・SDisk プロトコル　:ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。

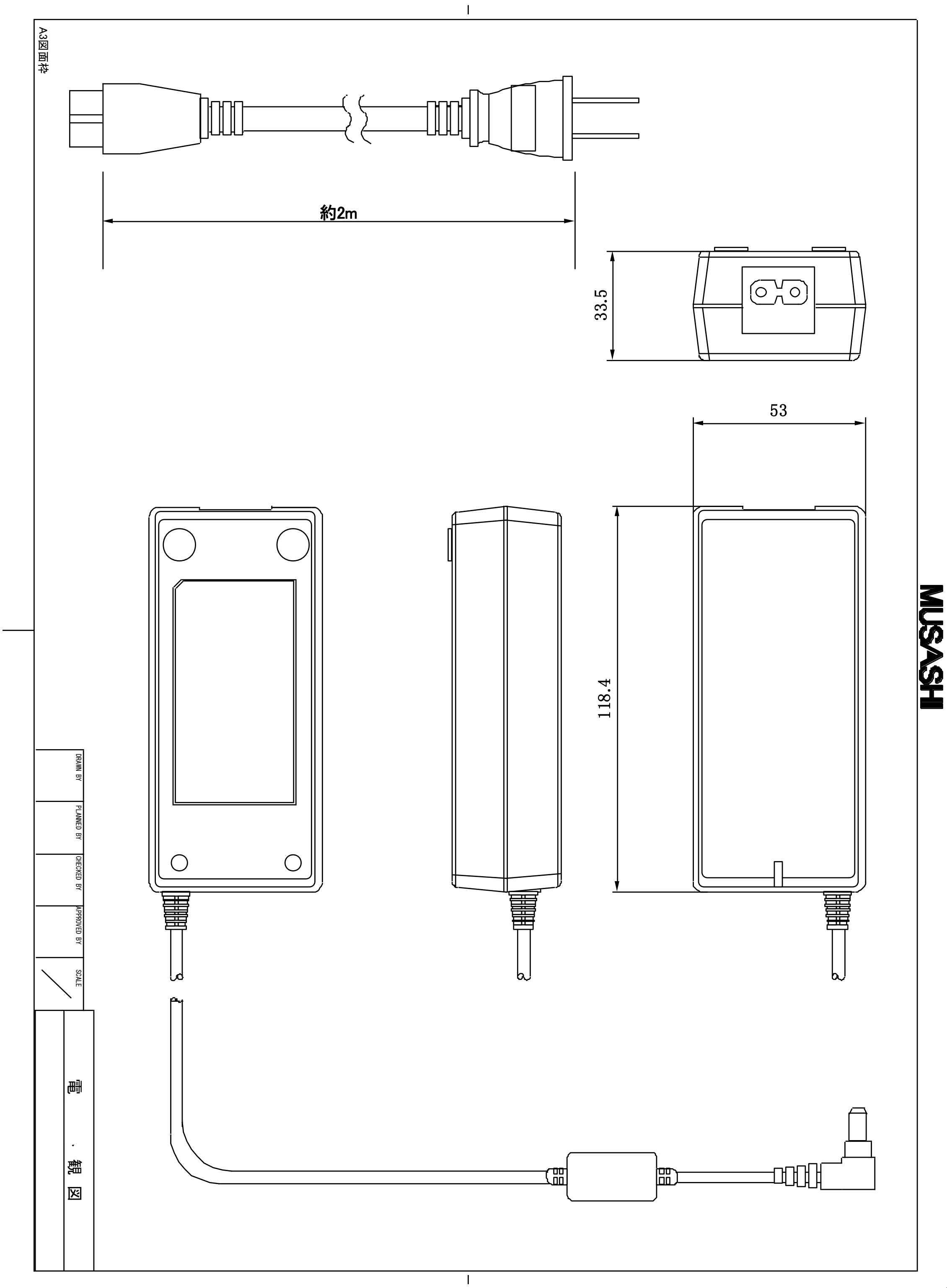
・VDCP プロトコル　:ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。

・Odtics プロトコル　:ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。

※ファイル管理を行うプロトコルは、機器により制御手順及びＴＣの取扱に相違がある為、プロトコル対応機器でも動作しない事があります。

13.外観


45
248
260
90
180
MUSASHI
MDC-70T
IN 1
IN 2
IN 3
IN 4
SIO 1
SIO 2
SIO 3
SIO 4
GPI
REF
LINK 1
LINK 2
LAN 1
LAN 2
USB
POWER
ON
OFF
DRAWN BY
PLANNED BY
CHECKED BY
APPROVED BY
SCALE
MDC-70T 外観図
2013.7.11


A3図面枠
約2m
33.5
53
118.4
DRAWN BY
PLANNED BY
CHECKED BY
APPROVED BY
SCALE
電 ・ 観 図

14.MENU 一覧

○ 共通事項

・設定値の変更は、"（F4）+"、"（F3）-""SET" 操作で行います。

・下線が引いてある設定値は、Defalt の設定です。

・"＄～"の項目は、電源再起動(ResetMDC)でその設定が反映されます。

○ "10000：Collection" 関連

・簡易設定を行います。

Collection		
項目番号	項目名	内容
17000	$CutomPtn	特定案件用設定。 0000：標準動作設定 （通常時左値固定）
17002	$PcSysPtn	コントローラモードと PC モードの切替えを行います。 Free ： （前回の設定を保持します） StandAlone ： 通常モードで使用します。（VTR 制御等） MvxMode-A ： SlaveMode（Mvx） PcMode-A ： SlaveMode A PcMode-B ： SlaveMode B PcMode-C ： SlaveMode C ※SlaveMode で起動すると画面は SlaveMode と表示され、PC 等と通信が確立すると、アプリケーション依存の画面に切り替わります。 ※通常モードに戻すには CTRL+ESC+SFT ボタンを押しながら電源を投入して下さい。投入後に本 MENU を StandAlone に戻して下さい。
17100	$Port-Default	PORT の使用方法を設定します。 VTR 単体制御及び同時制御を行う時に選択します。 Yes ／ No
17101	$Port-Coupling12	PORT の使用方法を設定します。 1,2 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。
17102	$Port-Coupling34	PORT の使用方法を設定します。 3,4 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。
17103	$Port-Coupling12/34	PORT の使用方法を設定します。 1,2 と 3,4 PORT を選択しカップリング機能で使用する時に選択します。
17104	$Port-Coupling1234a	PORT の使用方法を設定します。 1,2 と 3,4 PORT を同時にカップリング機能で使用する時に選択します。
17301	$Port1-Protocol	PORT 1 で使用するプロトコルを選択します。 1） Free ： （前回の設定を保持します） 2） Default ： デフォルト（初期設定値）（※VTR プロトコルに設定） 3） Through ： （PC モード用） 4） VTR-a ： VTR プロトコルに設定します。 5） XDS-a VDCP R1 ： VDCP プロトコルの REC ポートに設定します。 6） XDS-a VDCP P1 ： VDCP プロトコルの PLAY ポートに設定します。 7） SR1K-a VDCP R1 8） SR1K-a VDCP P1 9） SR1K-a VDCP R2 10） SR1K-a VDCP P2

１７３０２	$Port2-Protocol	PORT 2 で使用するプロトコルを選択します。 同上
１７３０３	$Port3-Protocol	PORT 3 で使用するプロトコルを選択します。 同上
１７３０４	$Port4-Protocol	PORT 4 で使用するプロトコルを選択します。 同上

○ “20000:Console“ 関連

操作パネル関連の設定メニューです。

Console		
項目番号	項目名	内容
22001	Port1-RecNextClipId	PORT1で使用する、次の記録用のファイル番号です。 M…0001
22002	Port2-RecNextClipId	PORT2 同上 M…0001
22003	Port3-RecNextClipId	PORT3 同上 M…0001
22004	Port4-RecNextClipId	PORT4 同上 M…0001
27400	PortSelectMode	ポートの選択モードを指定します。 Normal : 標準のポート選択モード OldParaSel : 旧(MDC50T 等形式)複数ポート選択モード △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27401	PortAutoChg	再/録操作時に従う(カップリング)ポートの自動切り替えの設定。 Disable : 自動切り替えしない Enable : 再生系操作をした場合は再生系ポートへ自動切り替え、 記録系操作をした場合は記録系ポートへ自動切り替え
27501	Port1-RecCoupling	PORT1 選択時での記録制御先指定。(カップリング用) 16 パターンの設定が可能です。 1. . . △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27502	Port2-RecCoupling	PORT2 同上 . 2. .
27503	Port3-RecCoupling	PORT3 同上 . . 3.
27504	Port4-RecCoupling	PORT4 同上 . . . 4
27511	Port1-PlayCoupling	PORT1 選択時での再生制御先指定。(カップリング用) 16 パターンの設定が可能です。 1. . . △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27512	Port2-PlayCoupling	PORT2 同上 . 2. .
27513	Port3-PlayCoupling	PORT3 同上 . . 3.
27514	Port4-PlayCoupling	PORT4 同上 . . . 4
27601	Port1-MaterialBank	PORT1 選択時でのファイルリストの登録エリアの指定。 Bank-A Bank-B Bank-C Bank-D △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27602	Port2-MaterialBank	PORT2 同上 Bank-B

27603	Port3-MaterialBank	PORT3 同上 Bank-C
27604	Port4-MaterialBank	PORT4 同上 Bank-D
27611	Port1-ClipListBank	PORT1 選択時での CLIP(CUE)リストの登録エリアの指定。 Bank-A Bank-B Bank-C Bank-D △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
	Port2-ClipListBank	PORT2 同上 Bank-B
	Port3-ClipListBank	PORT3 同上 Bank-C
	Port4-ClipListBank	PORT4 同上 Bank-D
27621	Port1-PlayListBank	PORT1 選択時でのプレイリストの登録エリア指定。 Bank-A Bank-B Bank-C Bank-D △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27622	Port2-PlayListBank	PORT2 同上 Bank-B
27623	Port3-PlayListBank	PORT3 同上 Bank-C
27624	Port4-PlayListBank	PORT4 同上 Bank-D
27701	Port1-Symbol	PORT1 のシンボルを変更します。 A～D／1～V4／R1～R4／P1～P4 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27702	Port2-Symbol	PORT2 同上 B
27703	Port3-Symbol	PORT3 同上 C
27704	Port4-Symbol	PORT4 同上 D
27711	Port1-DevStsIcon	PORT1のアイコンを画像入力にするか Symbol にするか選択します。 PortSym　:上記(27701)のシンボルに従います。 Video-IN1　:IN1 画像を表示します。
27712	Port2-DevStsIcon	PORT2 同上 PortSym
27713	Port3-DevStsIcon	PORT3 同上 PortSym
27714	Port4-DevStsIcon	PORT4 同上 PortSym

27801	$MarkBlankKeyAsn	MARK エリアの Blank　キーを変更します。 Blank　:何もしません。 Search　:CUE 点を Search します。 Login　:　カップリング中に REC 側の CUE 点を登録します。
27811	$ContBlankKeyAsn1	CONTROL エリアの Blank キー1を変更します。 Blank　:何もしません。 Standby　:　STNDBY ON します。 Rew　:　REW 動作します。 F.FWD　:FF 動作します。 Var1:Var1で設定した%で再生します。(関連 MENU 27E01) Var2:Var2 で設定した%で再生します。(関連 MENU 27E02) Var3:Var3 で設定した%で再生します。(関連 MENU 27E03) Top:XDS 拡張コマンド TOP 動作します。 End:XDS 拡張コマンド END 動作します。 Pre:XDS 拡張コマンド PREV 動作します。 Next:XDS 拡張コマンド NEXT 動作します。
27812	$ContBlankKeyAsn2	CONTROL エリアの Blank キー2 を変更します。 同上 Blank
27813	$ContBlankKeyAsn3	CONTROL エリアの Blank キー3 を変更します。(MDC-70 のみ) 同上 Blank
27901	Preroll-1	プリロール時間の指定 -03:00　時間変更可能です。
27902	Preroll-2	プリロール時間の指定 -05:00　時間変更可能です。
27903	Preroll-3	プリロール時間の指定 -07:00　時間変更可能です。
27904	Preroll-4	プリロール時間の指定 -10:00　時間変更可能です。
27905	Preroll-5	プリロール時間の指定 -20:00　時間変更可能です。
26906	Preroll-6	プリロール時間の指定 -30:00　時間変更可能です。
27911	PostRoll-1	ポストロール時間の指定 +03:00　時間変更可能です。
27912	PostRoll-2	ポストロール時間の指定 +05:00　時間変更可能です。
27913	PostRoll-3	ポストロール時間の指定 +07:00　時間変更可能です。
27914	PostRoll-4	ポストロール時間の指定 +10:00　時間変更可能です。
27915	PostRoll-5	ポストロール時間の指定 +20:00　時間変更可能です。
27916	PostRoll-6	ポストロール時間の指定 +30:00　時間変更可能です。
27B00	CTL-DisplayMode	CTL の時間表示方法の指定 24H 12H
27D00	AtCup-SetClp-CList	ClipList に CUE 点を登録した時に自動で CUE UP します。 Disable　:CUE UP しません。 Enable　:CUE UP　します。

27D01	AtCup-SetClp-PList	PlayList に CUE 点を登録した時に自動で CUE UP します。 Disable ：CUE UP しません。 Enable ：CUE UP します。
27D02	AtCup-CsrMov-Mlist	Material List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable ：CUE UP しません。 Enable ：CUE UP します。
27D03	AtCup-CsrMov-Clist	Clip List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable ：CUE UP しません。 Enable ：CUE UP します。
27D04	AtCup-CsrMov-Plist	Play List でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable ：CUE UP しません。 Enable ：CUE UP します。
27E01	Preset VAR-1	VAR 再生のスピードを指定します。 100% %の変更は可能です。
27E02	Preset VAR-2	VAR 再生のスピードを指定します。 50% %の変更は可能です。
27E03	Preset VAR-3	VAR 再生のスピードを指定します。 30% %の変更は可能です。
27F01	SpeedMode	T-BAR 操作とJOG操作の切替え方法を指定します。 Button ： J/S、VAR ボタンによる切替え Direct ： T-BAR/DIAL 操作による切替え
27F02	DialSafeStopper	Direct 切替え操作時、JOG の操作方法を指定します。 Disable ： Stopper 機能は無効になります。 Enable ： Stopper 機能は有効になります。
28000	JogPattern	JOG の操作感の変更が可能です。 Fix：デフォルトパラメータ（固定）での動作になります。 Adjustable ：以下のパラメータ指定が有効になります。
28001	JogParam-Point1	10
28002	JogParam-Point2	20
28003	JogParam-Angl1	1
28004	JogParam-Angl2	5
28005	JogParam-Angl3	30
28006	JogParam-JogToShtl	20
28101	T-BarLimit	T-Bar のスプリング位置からの動作を指定します。 Free ：早送り・巻き戻し動作します。 Low ：下位置以下で停止状態です。 High ：上位置以上でPLAY状態です。 Low&High
28200	ExtRefDispMode	REF が接続されているか否か、STOP ボタン点滅で指定します。 Disable ： REF 入力が無くても点滅しません。 StopSw ： REF 入力が無いと STOP SWが点滅します。
28202	DialCursorAdjust	JOG(SFT+△)でカーソルを移動させた時の移動量の調整パラメータです。 3
28203	PB/EE-SendPort	EE コマンドを出すポートを指定します。 MasterPort ： 現在選択中（PORT 選択 SW 点滅中）のポート RecPort ： 記録系ポート PlayPort ： 再生系ポート

28204	RecStopOprTimer	RECの停止時の操作を長押しで停止する様に時間指定します。 0 frame
29600	ThumbnailCapture	CUE 点のサムネイルを IN1～4の入力画像よりキャプチャーする事が可能です。 Disable ： キャプチャー登録します。 Enable ： キャプチャーは行いません。 ※キャプチャー機能を有効にすると、CUE 点の登録動作が遅くなります。
29601	ClipList-SetMode	Clip List へのCUE点の登録方法を選択します。 Search ：若番より空いている所に登録します。 OverWrite ： カーソル位置に上書します。
29900	AE-SyncRetry	VTR 簡易編集画面時での調相制御リトライ回数パラメータです。 3

○ “30000：Sio“ 関連

SIO ポート関連の設定メニューです。

設定対象の SIO ポート1～4 の切り替えは、PORT SELECT ボタンで行います。

Sio		
項目番号	項目名	内容
30101	Sio:Baudrate	SIO のボーレート指定 9600 19200 38400 115200
30102	Sio:DataBit	SIO のデータビット指定 7bit 8bit
30103	Sio:Parity	SIO のパリチィービット指定 Non Even Odd
30104	Sio:StopBit	SIO のストップビット指定 1bit 2bit
30105	Sio:PinAssign	SIO の Tx/Rx 信号アサインの指定 RemoteOut （VTR 等とストレートケーブルで接続の場合） RemoteInp （コントローラ等とストレートケーブルで接続の場合） ※ケーブルのストレート／クロスをここで吸収可。
30106	Sio:FrameTimeOut	SIO のフレーム通信タイムアウト指定 （単位≒Ref） 5 （通常左値固定）
30107	Sio:CharTimeOut	SIO の受信キャラクタ間タイムアウト指定（単位≒ms） 15 ※スループロトコルの場合、接続相手の性能に合わせ適値として下さい。 受信フレームが問題なく安定して”終端される”範囲で最小値に 調整して下さい。 ※上記デフォルト値は安全の為、少し長めの値としてあります。 フレーム精度制御の必要が無ければデフォルトのまま使用して下さい。
30201	PortDirection	接続対象との“制御の方向”の指定 RemoteOut MCI が制御を出す場合（＝VTR 等） RemoteInp MCI が制御を受ける場合（＝コントローラ等）
30202	Protocol	通信プロトコルの指定 Through （プロトコル非依存のスルー通信をさせる場合） 9pin Odetics Sdisk Vdcp ※“Through “指定の場合、以降のプロトコルに依存する設定項目は 制御に使用しない為、基本はデフォルトのままとして下さい。 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30203	FrameFormat	フレームフォーマット指定 NTSC-DF NTSC-NDF PAL

30205	DoropFrameSign	ドロップフレーム指定 DeviceAnswer （DF はデバイスからの TC アンサーに従う） Fix （先述フレームフォーマット値で固定）
30206	OptCmdParam	オプションパラメータ指定 01 h （通常左値固定）
30207	PortAttribute	ポートの 再／録 制御 属性の指定 Play&Rec （再／録 制御 両方行うポート） （通常左値固定） Play （再生制御のみ行うポート） （Disk 系の Play ポート等） Rec （記録制御のみ行うポート） （Disk 系の Rec ポート等） △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
30500	DevStsSns-Tmg	周期ステータスセンス送信タイミング指定 0 （通常左値固定）
30501	TcSnsTyp1(S)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定（センス TC が1種類用） 0 （通常左値固定）
30502	TcSnsTyp1(D)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定（センス TC が 2 種類用の1つ目） 0 （通常左値固定）
30503	TcSnsTyp2(D)-Tmg	周期 TC センス送信タイミング指定（センス TC が 2 種類用の 2 つ目） 0 （通常左値固定）
30600	Stop-Timing	STOP コマンドタイミング指定 6 frame （通常左値固定）
30601	Still-Timing	STILL コマンドタイミング指定 6 frame （通常左値固定）
30606	RecTcOffset	Rec 時の TC に対するオフセット 0 frame （通常左値固定）
30607	PlayTcOffset	Play 時の TC に対するオフセット 0 frame （通常左値固定）
30700	RecEnable	記録制御の有効／無効 RecDisable 記録禁止 RecEnable 記録許可 （通常左値固定）
30701	NomalRecStartDly	REC コマンド遅延指定 0 frame （通常左値固定）
30800	StopCommand	停止制御に使用するコマンドの指定 Stop （通常左値固定） Var-Zero Jog-Zero Shuttle-Zero
30803	DialShuttleMax	Shuttle 使用時の MAX 値の設定 x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30804	DialVarMax	JOG_VAR 使用時の MAX 値の設定 ※MDC-70 のみ x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30805	T-BarMax	T-Bar 使用時の MAX 値の設定 ※MDC-70T のみ x4, x8, x16, x32, x50, x60, x100, x200, Max, FF/REW
30902	Cue:StartWait	同期 Cueup 制御での制御開始タイミング指定 10 frame （通常左値固定）
30903	Cue:CmplChkWait	同期 Cueup 制御での制御完了監視 Delay 指定 10 frame （通常左値固定）

30904	Cue:CmplDelay	同期 Cueup 制御での制御完了 Delay 指定 10 frame　(通常左値固定)
30905	Cue:ReCueup	同期 Cueup 制御での再制御指定 ReCueup No-ReCueup　(通常左値固定)
30907	Cue:RecTc-SchDly	自動追いかけ再生制御での再生遅延量の設定 210 frame　(通常左値固定)
30908	Cue:CupAftStlCmd	画出力機能付き Cueup 機能での画出しの為の停止制御指定 Nop　(通常左値固定) Stop Var-Zero Jog-Zero Shuttle-Zero ※Cueup 後、EE になるなどの機器の対策用。
30909	Cue:CupAftStlDly1	上記 Cueup 機能での Cueup 送信後から停止送信までの Delay 30 frame　(通常左値固定)
3090A	Cue:CupAftStlDly2	上記 Cueup 機能での Cueup 完了後から停止送信までの Delay 5 frame　(通常左値固定)
30A02	Sync:StartDelay	同期再生制御開始タイミング指定 5 frame　(通常左値固定)
30A04	Sync:DiffChkWt	同期再生制御 TC 監視タイミング指定 30 frame　(通常左値固定)
30A05	Sync:SyncGrade	同期再生制御 TC 監視許容幅指定 0 frame　(通常左値固定)
30A08	Sync:LockCmplWt	同期再生制御 TC 監視持続時間指定 20 frame　(通常左値固定)
30A0D	Sync:ParaRecDelay	一斉 Rec 制御時の Rec 送信 Delay 指定 0 frame　(通常左値固定)
30D00	V:VtrStsSnsLen	VTR ステータスセンスの byte 数指定 14 byte　(通常左値固定)
30D01	V:TcSnsType1	VTR TC センス種別　指定 Auto　(通常左値固定) LTC VITC FTC
30D02	V:TcSnsType2	VTR TC センス種別　指定 (2 種目の TC センス指定用) Disable　(2 種目の TC センス無し) (通常左値固定) Auto LTC VITC FTC CTL LTC-UB VITC-UB ※主に CTL や UB の取得用
30D03	V:TcErrBypassCnt	TC センスエラーバイパス回数指定 3　(通常左値固定)
30D04	V:UbitSnsEnable	(TC センスと合わせての)ユーザービットセンス許可指定 Disable　センスしない　(通常左値固定) Enable　センスする

30D06	V:CueupTcType	VTR の Cueup 制御に使用する TC 種別の指定 Free Auto （通常左値固定） TC CTL
30D07	V:ColorFrmSel	VTR 調相制御時に使用するカラーフレームセレクト指定 Free （通常左値固定） 2fild 4fild
30D0B	V:SpeedSnsType	VTR のスピードセンスコマンド指定 Disable　センスしない （通常左値固定） VtrSpeed　VTR のスピードセンスコマンドでセンス
30D0F	V:PB-SendMode	VTR の PB コマンド送信指定 Disable　送信しない With-Play　再生系コマンドと一緒に PB 送信 （通常左値固定）
30D10	V:PB-SendDelay	上記送信用の送信 Delay 指定 0 frame （通常左値固定）
30D14	V:CtlResetType	VTR の CTL リセットコマンド指定 ResetCmd　CTL リセットコマンドを使用　（通常左値固定） PresetZero　オール 0 の CTL 値をプリセット
30D15	V:CtlPresetDF	VTR の CTL リセット時の DF 指定 Default （通常左値固定） DF NDF
30D16	V:TcDirStsEmu	TC 監視による走行方向検出機能 Disable　使用しない （通常左値固定） Enable　使用する ※9pin 仕様での"Dir"ビット非対応の機器用
30E40	V:EdtPrsSnsLen	VTR の Edit Preset センス長 指定 0 byte　センスしない（通常左値固定） ※DA が 8ch までの一般的な VTR 機器は 2 として下さい。
30E43	V:EditIn-Tmg	VTR の Edit-ON 送信タイミングパラメータ 5 frame （通常左値固定）
30E44	V:EditOut-Tmg	VTR の Edit-OFF 送信タイミングパラメータ 4 frame （通常左値固定）
30E45	V:EditIn-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-ON 送信タイミングパラメータ 0 frame （通常左値固定）
30E46	V:EditOut-CtlTmg	VTR の CTL 走行時での Edit-OFF 送信タイミングパラメータ 0 frame （通常左値固定）
30E47	V:EditMiniDur	VTR 編集制御の最小デュレーション 15 frame （通常左値固定）
31000	Dsk:FnameSnsTyp	Disk 系プロトコルのファイルセンスコマンド指定 Normal　センスコマンドはプロトコル設定に従う （通常左値固定） Doremi コマンド固定 AMP コマンド固定 S-Disk コマンド固定
31002	Dsk:DriveType	Disk 系プロトコルでの ディスクドライブ制御 指定 UnUsed　ドライブ制御無し （通常左値固定）
31003	Dsk:FileListSns	Disk 系プロトコルでのファイル名リストセンス指定 Disable　ファイル名リストセンスを行わない Enable　ファイル名リストセンスを行う

31100	Sdsk:RecDur	Disk 系プロトコルでの収録時間の指定 00:00:00:00 (通常左値固定) (一部の Disk 系機器でオープンエンドの意)
31103	Sdsk:ModelType	S-Disk プロトコルのモデル指定 MAV （通常左値固定） DR1000 XDCAM
31300	Ode:RecCueRec ->RecWt	Oditcs プロトコルでの Rec 送信タイミング指定 10 （通常左値固定）
31501	Vdcp:RecPortId	VDCP での 収録系の “PORT-ID“の指定 0 （収録系ポートで無いか、PC 側で OpenPort 制御を行う場合は”0”） 指定する場合は、通常 -1、-2、-3… 等の負数で指定 適値は VDCP 機器依存 （通常は”-1”等） △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
31502	Vdcp:PlayPortId	VDCP での 再生系の “PORT-ID“の指定 0 （再生系ポートで無いか、PC 側で OpenPort 制御を行う場合は”0”） 指定する場合は、通常 1、2、3… 等の正数で指定 適値は VDCP 機器依存（通常は”2”等） △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
31504	Vdcp:CueupCmd	VDCP での Cueup コマンド指定 Cueup(open) Cueup(jog) PlayCue(open) PlayCue(jog) （通常左値固定）
31505	Vdcp:FnameSnsTyp	VDCP でのファイルセンスコマンド指定 ShortName LongName （通常左値固定）
31506	Vdcp:TcSnsType	VDCP での TC センスコマンド指定 Single(FTC) Single(LTC) Dual(FTC/LTC) （通常左値固定）
31507	Vdcp:StillCmd	VDCP での停止動作コマンド指定 Still Var-Zero （通常左値固定）
31508	Vdcp:FileDelWt	VDCP のファイル削除機能タイミング指定 60 （通常左値固定）
31600	Vdcp:ClipMinDur	VDCP でのクリップの最小サイズ指定 30 frame （通常左値固定）
31601	Vdcp:Nxt-PlayTmg	VDCP で連続再生を行う時の Play タイミング指定 3 frame （通常左値固定）
31602	Vdcp:End-StpTmg	VDCP で連続再生を行う時の Stop タイミング指定 3 frame （通常左値固定）
31603	Vdcp:NextCupTmg	VDCP で連続再生を行う時の 次 Cueup タイミング指定 5 frame （通常左値固定）
31604	Vdcp:ClipTc-Typ	VDCP で連続再生を行う時の制御タイムコードの指定 ZeroBase （通常左値固定） ClipTc
31605	Vdcp:2nd-PlyTmg	VDCP で連続再生を行う時の 2ndCLip の Play タイミング指定 0 frame （通常左値固定）

33100	Gpi:Eject-C	GPI 入力 VTR-Eject コマンド受付 Bit の指定 00000000 （対象 Bit 桁を1にすると有効）（以下同）
33101	Gpi:Stbyoff-C	GPI 入力 VTR-Standby-OFF コマンド受付 Bit の指定
33102	Gpi:StbyOn-C	GPI 入力 VTR-Standby-ON コマンド受付 Bit の指定
33103	Gpi:Stop-C	GPI 入力 VTR-Stop コマンド受付 Bit の指定
33104	Gpi:Still-C	GPI 入力 VTR-Still コマンド受付 Bit の指定
33105	Gpi:Rec-C	GPI 入力 VTR-Rec コマンド受付 Bit の指定
33106	Gpi:Play-C	GPI 入力 VTR-Play コマンド受付 Bit の指定
33107	Gpi:FF-C	GPI 入力 VTR-FF コマンド受付 Bit の指定
33108	Gpi:Rew-C	GPI 入力 VTR-Rew コマンド受付 Bit の指定
33200	Gpi:Rem-S	GPI 出力 VTR-REMOTE/LOCAL ステータス出力 Bit の指定 00000000 （対象 Bit 桁を1にすると有効）（以下同）
33201	Gpi:Tape-S	GPI 出力 VTR-TAPE 有無 ステータス出力 Bit の指定
33202	Gpi:StbyOn-S	GPI 出力 VTR-Standby-ON ステータス出力 Bit の指定
33203	Gpi:Stop-S	GPI 出力 VTR-Stop ステータス出力 Bit の指定
33204	Gpi:Still-S	GPI 出力 VTR-Still ステータス出力 Bit の指定
33205	Gpi:Rec-S	GPI 出力 VTR-Rec ステータス出力 Bit の指定
33206	Gpi:Play-S	GPI 出力 VTR-Play ステータス出力 Bit の指定
33207	Gpi:Fwd-S	GPI 出力 VTR-FWD ステータス出力 Bit の指定
33208	Gpi:FF-S	GPI 出力 VTR-FF ステータス出力 Bit の指定
33209	Gpi:Rew-S	GPI 出力 VTR-Rew ステータス出力 Bit の指定
3320A	Gpi:Dir-S	GPI 出力 VTR-逆走行 ステータス出力 Bit の指定
3320B	Gpi:Jog-S	GPI 出力 VTR-Jog ステータス出力 Bit の指定
3320C	Gpi:Shuttle-S	GPI 出力 VTR-Shuttle ステータス出力 Bit の指定
3320D	Gpi:Var-S	GPI 出力 VTR-Var ステータス出力 Bit の指定
3320E	Gpi:CueBusy-S	GPI 出力 VTR-Cueup 中 ステータス出力 Bit の指定
3320F	Gpi:CueCmpl-S	GPI 出力 VTR-Cueup完了 ステータス出力 Bit の指定
33210	Gpi:SpdMovFw-S	GPI 出力 VTR 順方向走行 ステータス出力 Bit の指定
33211	Gpi:SpdMovRv-S	GPI 出力 VTR 逆方向走行 ステータス出力 Bit の指定
33300	Gpi:Stop-OutBit	GPI 出力 VTR-Stop イベントパルス Bit の指定 00000000 （対象 Bit 桁を1にすると有効）（以下同）
33301	Gpi:Stop-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame
33303	Gpi:Play-OutBit	GPI 出力 VTR-Play イベントパルス Bit の指定
33304	Gpi:Play-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame
33306	Gpi:Rec-OutBit	GPI 出力 VTR-Rec イベントパルス Bit の指定
33307	Gpi:Rec-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame

○ “40000:Gpi“ 関連

GPI 共通関連の設定メニューです。

Gpi		
項目番号	項目名	内容
48600	GpiKey-Up	上△ボタンを割り当てる事が可能です 00000000 （対象 Bit 桁を1にすると有効）（以下同）
48601	GpiKey-Dw	下△ボタンを割り当てる事が可能です
48602	GpiKey-Lf	左△ボタンを割り当てる事が可能です
48602	GpiKey-Rt	右下△ボタンを割り当てる事が可能です
48604	Gpi:Key-Play&Dw	GPI が ON すると再生します。 GPIがOFFすると下△ボタン（NEXT）に移動します。 ※MENU（27D03）を有効にすると NEXT 時に CUE UP します。

※ 各 SIO ポート個別での GPI コマンド入力／GPI ステータス出力機能（簡易 GPI 機能）は、

SIO メニュー側で SIO ポートごとに設定可能です。

○ “50000：Lan/Link“ 関連

Lan/Link 関連の設定メニューです。

Lan/Link		
項目番号	項目名	設定
51200	$Unitid	ユニット ID 1 ID ※複数の本機を LAN 接続してシステムを組む場合の識別 ID
51202	LAN-1:IP Address	LAN1 ポートの IP 192. 168. 001. 200
51203	LAN-2:IP Address	LAN2 ポートの IP 192. 168. 001. 220
51204	LAN-1:IP Mask	LAN1 ポートの IP マスク 255. 255. 255. 000
51205	LAN-2:IP Mask	LAN2 ポートの IP マスク 255. 255. 255. 000
51212	LAN-1:PowerOn OnlineChk Rsp	LAN1 用の電源 ON 通知機能 1） Disable 2） Enable ※電源 ON 後、本機から起動通知用のオンラインチェック応答送信機能
51213	LAN-2:PowerOn OnlineChk Rsd	LAN2 用の電源 ON 通知機能 1） Disable 2） Enable
51216	LAN-1:UdpSndTout	LAN1 用の UDP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) （通常左値固定）
51217	LAN-2:UdpSndTout	LAN2 用の UDP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) （通常左値固定）
51218	LAN-1:TcpSndTout	LAN1 用の TCP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) （通常左値固定）
51219	LAN-2:TcpSndTout	LAN2 用の TCP 送信タイムアウト時間の指定 10 (x10ms) （通常左値固定）
51280	LAN-C:CycRspStop	LAN 共通のステータス通知自動停止時間 60 sec ※PC からのメッセージが途絶えてから、本機からの周期ステータス通知等を自動停止するまでの時間。
51401	LINK:SyncPktSend	LINK 機能によるリファレンス供給機能 1） OFF （通常左値固定） 2） ON ※通常は、本設定は OFF とし、各 MCI に直接 Ref を供給して下さい。
55400	LAN-R:DefRspId	LAN による各ステータス応答のデフォルトの応答先 PC の ID 0 （通常左値固定） ※MCI-60 互換動作用のデフォルト設定であり、設定する場合は通常は”8”
55401	LAN-R:DefRspRtMd	LAN による“リアルタイムステータス応答”のデフォルトの応答送信モード 1） Disable 2） UDP-BC 3） UDP-ID （通常左値固定） ※MCI-60 互換動作用のデフォルト設定

55402	LAN-R:DefRspSec	LAN によるステータス応答のデフォルトの応答間隔指定（秒） 0 sec　（通常左値固定） ※MCI-60 互換動作用のデフォルト設定
55403	LAN-R:DefRspFrm	LAN によるステータス応答のデフォルトの応答間隔指定（frame） 1 frame　（通常左値固定） ※MCI-60 互換動作用のデフォルト設定
55406	LAN-R:DefRspOpMd	LAN による"操作イベント(GPI/SW 等)ステータス応答"のデフォルトの応答送信モード 1）　Disable 2）　UDP-BC 3）　UDP-ID　（通常左値固定） ※MCI-60 互換動作用のデフォルト設定

○ “60000:System“ 関連

System 関連の設定メニューです。

Sysytem		
項目番号	項目名	設定
61000	SystemDate&Time	年/月/日　時間 ※内部時計を設定します。
61400	SysFrameFormat	本機内部で共通に使用するシステムフレームフォーマット 1)　NTSC-DF 2)　NTSC-NDF 3)　PAL ※通常は、Ref 入力(及び LTC 入力)に合わせて設定します。
61506	ScreenSaverMode	未使用
61507	ScreenSaverTime	未使用
66000	$UnitMode	動作モードを切り替えます。 △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
66005	Hcopy	画面のスクリーンショットを USB メモリに保存します。

○ "70000：VirtualMcn" 関連

同期制御用マスタ（仮想マスタ）関連の設定メニューです。

※本機の機能による同期制御（各 SIO ポートに接続されている VTR 等の同期制御）を使用しない場合は、以下メニューの設定の必要はありません。

VirtualMcn		
項目番号	項目名	設定
70000	$VirMcnCnt	本機での仮想マスタの動作台数の指定 4
70201	NtscDF-Mod	仮想マスタの DF の指定 1） Auto 自動（リファレンスデバイスの TC で自動切り替え） 2） Fix 固定（システムフレームタイプの設定で固定）
70202	MasterSel	仮想マスタの制御ソースの指定 1） Normal （自立動作、又はリファレンスデバイスに追従） 2） Ltc-In （LTC 入力に追従）
70209	DevSyncMode	複数台同時制御再生の設定を行います。 1） ParaRun1 位相確認無しの同時スタート 2） ParaRun2 位相確認有りの同時スタート 3） Lock 調相制御有りの同時スタート
7020B	VirStsMode	仮想マスタのステータスのソース指定 1） VirMcn （独立動作でのステータス） 2） RefDevTC （リファレンスデバイスの TC のみスルー） 3） RefDevThr （リファレンスデバイスの TC とステータスのスルー）
7020C	VirStopChkWait	リファレンスデバイス追従制御での停止追従感度(ウェイト値) (frame) 30 ※リファレンスデバイスが上記設定値以上停止状態になった時に仮想マスタも停止する。
7020D	PbEeDist	仮想マスタ配下のコントローラから仮想マスタ配下の VTR への EE/PB コマンド分配先指定 1） Lock 同期制御の選択中 VTR へ送信 2） ALL 配下 VTR 全部へ送信 3） P-Port 配下の再生系ポートへの送信 4） R-Port 配下の記録系ポートへの送信
7020F	$SyncCueupMode	仮想マスタ停止時の配下 VTR への同期 Cueup 制御指定 1） Normal VTR 間の TC 位相合わせ Cueup 有り 2） NonCueup 無し
70400	LtcPlayChkWait	LTC 追従モードでの LTC 再生(1 倍速走行) 検知感度 (frame) 20
70401	LtcStopChkWait	LTC 追従モードでの LTC 停止 検知感度 (frame) 20
70402	LtcPlayLockWait	LTC 追従モードでの LTC 再生(1 倍速走行)安定 検知感度 (frame) 20
70403	LtcPlayOfst	LTC 追従モードでの LTC 再生 TC に対するオフセット 1
71000	$RefDev	リファレンスデバイスの選択 0 リファレンスデバイスの選択無し（仮想マスタは独立動作） 1～ 選択有り（番号は配下の VTR エントリ番号） ※仮想マスタの動作リファレンスとなるデバイスの選択

71100	$RecEnaDevBmp	仮想マスタ配下の VTR の Rec 動作許可指定 11111111 11111111 ※LSB＝配下の VTR エントリ番号1 ※デフォルトは全エントリ Rec 動作許可
71102	$SyncDevBmp	仮想マスタ配下の VTR の同期制御許可指定 00000000 00000000 ※LSB＝配下の VTR エントリ番号1
71200	$ShowTime	仮想マスタ(VTR)の基準 TC 00:00:00:00
73000	$AsnRemInp	仮想マスタへのリモート入力系統のアサイン指定 1） Manual （後述メニューで個別に割り当て） 2） Disable （リモート入力系統は使用しない） 3） x4 （物理 SIO の若番ポートから順に 4 系統自動割り当て） 4） x8 （物理 SIO の若番ポートから順に 8 系統自動割り当て）
73001	$AsnRemOut	仮想マスタからのリモート出力系統のアサイン指定 1） Manual （後述メニューで個別に割り当て） 2） Disable （リモート出力系統は使用しない） 3） x4 （物理 SIO の若番ポートから順に 4 系統自動割り当て） 4） x8 （物理 SIO の若番ポートから順に 8 系統自動割り当て）
73101 ～ 73108	AsnRemInp-01 ～ AsnRemInp-08	仮想マスタへのリモート入力系統のアサイン （配下に置くコントローラデバイスの SIO ポートのアサイン） Unit=** Ch=** “Unit=”の設定 ** ： 割り当て無し M ： 自局の意 1～ ： 他局ユニット ID（LINK 接続の他局） “Ch=”の設定 ** ： 割り当て無し 1～ ： 物理 SIO ポート番号
73201 ～ 73210	AsnRemOut-01 ～ AsnRemOut-16	仮想マスタへのリモート出力系統のアサイン （配下に置く VTR デバイスの SIO ポートのアサイン） Unit=** Ch=** “Unit=”の設定 ** ： 割り当て無し M ： 自局の意 1～ ： 他局ユニット ID（LINK 接続の他局） “Ch=”の設定 ** ： 割り当て無し 1～ ： 物理 SIO ポート番号
73301 ～ 73308	CtrDist-01 ～ CtrDist-08	仮想マシンの配下のコントローラの制御先指定 VirMcn 仮想マシン RemoteOut-01～16 仮想マシン配下のリモート出力系統

15.お問い合わせ

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391　　FAX 03-5982-4784

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F　〒161-0033

営業時間　9:00～18:00　月曜～金曜（休祝日を除く）

URL：http://www.musashi-kk.co.jp/